

第六十五回帝國議會 衆議院

健康保險法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和九年二月二十一日(水曜日)午後一時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 守屋 榮夫君

理事佐保 畢雄君 理事岡田喜久治君

松尾 孝之君 益谷 秀次君

世耕 弘一君 山下 谷次君

久山 知之君 清水留三郎君

武知 勇記君 増田 義一君

福田 虎龜君

同月二十日衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)、傳染病豫防法中改正法律案(中井一夫君外五名提出)、衛生組合法案(野田文一郎君提出)、傳染病豫防法中改正法律案(野田文一郎君提出)、衛生組合法案(福田關次郎君外二名提出)及傳染病豫防法中改正法律案(福田關次郎君外二名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 丹羽 七郎君

社會局部長 川西 實三君

社會局部長 富田愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險法中改正法律案(政府提出)

廢兵院法中改正法律案(政府提出)

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、政府委員ノ方カラ今御手許ニ差上ゲマシタ調査資料ニ付テ御説明ヲ致シタイ、尙ホ昨日ノ質疑ニ對スル答ニ付テ補充ヲシテ置キタ

イト云フ申出ガアリマスカラ、此際御許シ致シマス

○川西政府委員 只今御配付申上ゲマシタ清水君カラ御註文ノ資料ノ中デ、受療日數ヲ外國ノ分ト日本ノ分ト比較シ得ルヤウナ

モノヲ吳レト云フ御註文デアリマス、色々豫テモ調ベテ居リマシタガ、更ニ能ク念入りニ調ベテ見マシタガ、外國ノ分ニ於キマシ

テハ、受療日數——詰リ療養ヲ受ケタ者ノ日數ト云フモノヲ調ベタモノガゴザイマセ

ス、ソレデ休業——傷病ノ爲ニ休業シタ日數ト云フモノガ分ッテ居リマス、是デ見マス

ト、御手許ノ表ニゴザイマスヤウニ、大體日本モ外國モ大差ガナイヤウデゴザイマス、受療日數ヲ統計トシテ取ッテ居ル國ハ、日本以外ニハ餘リナイト云フ風ナコトヲ豫テカラ

聞イテ居リマスカラ、恐ラク今後調ベマシテモ見付カリ照イノデヤナカラウカ、斯ウ云ウ風ニ思ハレマス、是ハ差上ゲマシタ材料ニ付キマシテノ件デアリマス、ソレカラ

昨日佐保委員カラ、第十三條ノ物ノ製造、加工等ハ、ドウ云フモノカト云フ御尋ガアリマシタノニ對シテ、一應御説明申上ゲマシタガ、尙ホ不十分ナ感ジガアリマス、丁度佐保委員ガ、アノ時ニ豆腐屋ノ例ヲ御引

キナリマシテ、斯ウ云フ風ナモノガ健康法ノ適用ヲ受ケル、或ハ工場法ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、酷デハナカラウカト云

フヤウナ御話ガゴザイマシタ、特ニ十三條乃至十四條、即チ健康保險法ノ適用ノ對象

付託議案

健康保險法中改正法律案(政府提出)

廢兵院法中改正法律案(政府提出)

衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)

傳染病豫防法中改正法律案(中井一夫君外五名提出)

衛生組合法案(野田文一郎君提出)

傳染病豫防法中改正法律案(野田文一郎君提出)

衛生組合法案(福田關次郎君外二名提出)

傳染病豫防法中改正法律案(福田關次郎君外二名提出)

ト致シテ居リマス物ノ製造、加工等、要スルニ工場ト云フモノニ當ルモノ、概念ニハ、例ニ御舉ゲニナリマシタヤウナ、豆腐ヲ朝早く造ッテ、ソレヲ賣リニ出ル、其造ル者ガ親爺、小僧、其他合セテ五人ト云フ風ナモノニ適用スルト云フヤウニ、簡單ニ考ヘテ居ナイノデアリマス、成程アノ文句カラ申スト、豆腐ハ物ノ製造ト云フ風ニ當リマスガ、アノ觀念ノ中ニ入レヤウト致シテ居リマス物、即チ言葉ヲ換ヘテ、工場ト云フ風ナモノトシテ考ヘテ居リマスモノハ、物ヲ拵ヘテ、ソレヲ賣リニ歩ク、要スルニ販賣スル爲ニ拵ヘテ居ル、拵ヘテ又次ニ販賣スルト云フヤウナモノハ、商業ノ方ノ觀念ニ入リマシテ、物ノ製造、隨テ工場ト云フ風ナ意味デ、保險法ノ對象ニスルト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、ソレデ此豆腐ノ製造デモ、豆腐製造ソレ自身製造業トシテ、チャント獨立ラシテヤッテ居ル、斯ウ云フモノデアレバ適用ヲ受ケルダラウト思フ、併シ商

賣ニ附隨シテ物ヲ拵ヘテ居ルト云フヤウナコトハ、他ノ例ヲ引キマシテモ、例ヘバオ船屋ガ一方ニドンク船ヲ拵ヘナガラ、或ハオ菓子屋ガ菓子ヲ造リ、或ハ靴屋ガ靴ヲコンク造リナガラ、別ニ賣ッテ居ル、斯ウ云フノハ決シテ物ノ製造トシテ、健康保險法ノ對象トシテ考ヘテ居ルノデアリマセヌ、工場法モ恐ラク斯ウ云フヤウナ解釋ガセラレテ居ル譯デアリマス、同時ニ附加ヘテ申上ゲマスガ、當時五人以上トシテ居リマス其五人ハ、所謂賃銀労働者トシテ雇ハレテ居ル人ヲ純粹ニ考ヘルノデアリマシテ、其處ノ親爺サン、子供サン、家内ト云フヤウナ人達ガ混ッテ居ル、其人達モスツカリ加ヘテ五人ト云フ風ナ積リデアリマセヌ、純粹ノ雇ハレテ居ル人五人、斯ウ云フ風ナ解釋デ居リマス、ソコデ今度ハ、斯ウ云フ風ニ一應御説明申上ゲマシタガ、時ニ依ルト疑ハシイ例モ、色々雑多ナ場合ニハ出テ來ルカモ知レマセヌ、併シ私共ハ此健康保險法自身ノ性質ニ鑑ミマシテ、是ガ色々ナ取締法規ト云フ風ナモノト性質ガ違ヒマシテ、本來被保險者ノ、又同時ニ企業主ノ利益福利ト云フコトヲ念トシテ立テヤウトスル法規デアリマスカラ、疑ハシイ場合、或ハ非常ニ問題トサレルヤウナ場

合ニ、ソレヲ窮屈ニ解釋シテ、何デモ彼デモ之ニ嵌ルカラ入レヤウト云フヤウナ、嚴ナ態度ヲ向ハズ、疑ハシイ場合ガアレバ、望マレナケレバ適用ノ對象トハシナイト云フ態度デ、法ヲ運用シテ行キタイト云フ氣持デ居リマス、併セテ申上ゲマス

○守屋委員長

ソレデハ通告順ニ從ッテ松尾君

○松尾委員

私ノ御尋シヨウトスルコトハ、他ノ委員諸君ノ質疑應答ヲ伺ヒマシテ、大體分リマシタガ、分ラナイ點ニ付キマシテ二、三御尋シタイト思ヒマス、此種ノ保險ハ所謂社會保險デアリマシテ、單ニ稼働スル所ノ労働者ノミナラズ、之ヲ成ベク廣ク及ボシテ、國民全體ノ保健衛生ノ向上ヲ圖ルト云フコトガ、最モ肝要デナイカト思ヒマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ、昨日世耕君ノ質問サレタ、農業者ニ對スル保險ハドウスルカト云フコトニ對シテ、政府ノ御方針ノ大體ハ分リマシタガ、私ハソレト同様な意味ニ於キマシテ、此商業使用人ニ對スル斯様ナ制度ヲ、我國ノ現在ノ狀態デハマダ設ケル必要ハナイカ、之ニ付テ政府ハドウ云フ風ナ考ヲ有ッテ居ラレルカト云フコトヲ、先ヅ第一ニ御尋シタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ、最初ニ申上ゲマ

シタヤウニ、廣ク及ボスト云フ意味ニ於キマシテ、労働者ノ家族ニマデ之ヲ施行スルト云フコトガ、私ハ最モ必要ナコトデハナイカト思ヒマス、外國ノ例ヲ見マシテモ、家族ニ及ボシテ居ル例ハ澤山アルヤウデアリマスガ、殊ニ日本ノ如キ家族制度ノ國ニ於キマシテハ、其稼働スル所ノ主人一人ガ、斯様ナ保險ニ入ルコトガ出來テモ、其家族ニ疾病其他ノ不幸ガアツタ場合ニ、之ヲ顧ミナイト云フコトハ、一家ノ繁榮ヲ期シ、又國民ノ幸福ヲ増進スルト云フ意味ニ於キマシテ、頗ル遺憾デアルト思ヒマス、私ハ此點ニ付キマシテ、政府ガドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカト云フコト、先ヅ此二ツニ付テ御伺シタイト思ヒマス

○丹羽政府委員

松尾君ノ御尋ニ御答致シマスルガ、只今松尾君カラ御述ニナリマシタヤウニ、健康保險ヲ廣ク國民ノ各層ニ及ボシテ行クコトガ、大切デハナイカト云フ御意見ニ對シマシテハ、昨日モ申述ベマシタヤウニ、私共ト致シマシテハ、健康保險ノヤウナ、非常ナ都合ノ好イ制度ヲ、段々擴メテ行クト云フコトガ、國民保健、國民健康體力、労働力ト云フ方面ニ互リマシテノ、重要ナ一ツノ事項デアルト考ヘテ研究ヲ進メテ居ルノデアリマス、就キマシテハ

商業使用人ニ對シテハ、ドウ考ヘルカト云フ御話デアリマスルガ、御覽ノ通りニ現行ノ健康保險法ハ、先ヅ大體工業ニ從事スル労働者、又ハ少シ廣ク行キマシテモ、工業的事業ニ使フ労働者ト云フヤウナ範圍デ、強制被保險者ナリ或ハ任意包括被保險者ナリノ範圍ヲ定メテ居ルノデアリマス、然ルニ此現在ノ範圍ニ最モ接近シタ領域ニ於キマシテ、賃錢ナリ、日給ナリ、或ハ給料ナリヲ貰ッテ居ル、相當廣イ層ノ者ガ居ル譯デアリマス、ソレガ御述ニナリマシタヤウナ商業使用人デアルト思ヒマス、商業使用人中ニハ、非常ナ給料ナリ收入ナリガ低クテモ、普通ノ工業労働者トハ大分性質ノ違ッタモノモ居リマス、ソレカラ又工業労働者ニ最モ近い性質ヲ有ッテ居ルヤウナモノモアルノデアリマス、商業全體ヲ見マスルト、中々複雑デアリマス、銀行ノ窓口ニ立ッテ札ヲ勘定ヲシテ居ル人トカ、三越ノ店デ物ヲ販賣シテ居ル賣子トカ云フヤウナモノヲ較ベテ見マスルト、肉體的ノ労働ト云フ方面カラ云フト、大分ノ差ガアルヤウニ思ハレルノデアリマシテ、是等色々ノ使用人ガ居ル譯デアリマス、此人達ヲ如何ニシテ健康保險ノ如キ制度ニ取入レルカト云フコトニ付キマシテハ、十分研究ヲ致シテ善處致

シタイト考へて居リマス

ソレカラ次ニ労働者ノ家族ニ付テ御質問
デアリマシテ、我國ノ如キ家族制度ノ國柄
ニ於キマシテ、唯働イテ居ル主人ダケガ健
康保險ニ掛ッテ、家族ノ病氣ヲ診テ貰ヘナイ
ノデハ非常ニ都合ガ悪い、非常ニソレハ缺
點デハナイカト云フヤウナ御尋デアリマシ
テ、御尋ノ趣意、御意見ノアリマスル所ニ
付テハ、吾々ハ全ク同感デアリマス、主人
ダケガ醫療ヲ受ケマシテモ、家族ニ病人ガ
アルト云フ場合ニハ、非常ニ困ル譯デアリ
マス、私共ハ家族ノ診療ヲモ開始致シタイ
ノデアリマスルガ、如何ナル方法デ其診療
ヲ開始シテ宜イカ、例ヘバ保險ノ掛金ヲ増
スカドウカ、増サナイトスレバ、現在ノ經
濟デヤッテ行ケルカドウカ、現在ノ經濟デ完
全ニヤッテ行ケナイナラ、ドノ程度デヤッテ
行ケルガラウカ、色々ノ問題ガアリマス、
暫ク此問題ノ研究ヲ致シタイト考へて居リ
マス、併ナガラ是等ノ家族ノ問題ノ如キハ、
今回ノ擴張ニ付テ、最モ大事ナル事柄ダト
考へて居リマスノデ、至急ニ成案ヲ得タイ
ト云フ程ノ考ヲ以テ、進行ヲ致シテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス

○松尾委員 只今御尋致シマシタ二點ニ付
キマシテ、大體分リマシタガ、家族ニ及ボ

スト云フコトハ、私ハ全ク緊迫シテ居ル重

要ナ問題デアラウト思ヒマス、ソレニ付キ
マシテ、政府ガ目下御研究中ト云フコトヲ
伺ヒマシテ、諒解致シマシタガ、之ニ付キ
マシテハ色々矢張——今丹羽長官ノ仰シヤ
ルヤウニ、費用ノ點ガ關係致シマシテ、隨
分困難ナ問題モアラウト思ヒマスガ、私ノ
知ル範圍ニ於キマシテ、事業主ノ方ニ於キ
マシテモ、相當ノ理解アル者ハ、ソレガ爲
ニ費用ヲ増スト云フコトハ、敢テ厭ハナイ
ト云フ考ヲ有ッテ居ル者モ少クナイヤウデ
アリマス、ソレカラ又方法ニ依リマシテ
ハ、相當ニ費用ヲ省イテ——省クト申シマ
スト、現在ノ健康保險法中ノ色々ナ給付ノ
點ニ付キマシテ、以下私ガ質問致シマス
ガ、其點ニ付テ改正ヲシタナラバ、幾分か
其方面カラモ、費用ヲ家族ニ及ボスコトガ
出來ルノデハナイカト云フヤウナ點モ考ヘ
ラレルノデアリマス、兎ニ角只今ノ御答デ
大體諒承致シマシタカラ、ドウゾ此點ニ付
キマシテハ、尙ホ御研究ヲ願ヒマシテ、國
家社會ノ爲ニ、成ベク速ニ改正セラレシコ
トヲ希望シテ置キマス
次ニ私ハ御尋スル前ニ、政府ガ今回此改
正法律案ヲ議會ニ御提案ニナルニ付キマシ
テ、大分各方面カラ之ニ對シテ反對ノ聲ヲ

私共ハ耳ニスルノデゴザイマス、其中ニハ
昨日他ノ委員カラ質問サレマシテ、政府ノ
御答ヲ得テ分ッタク點モアリマスガ、私ハ此反
對ノ聲ニ付キマシテ、モウ一度御尋致シマ
シテ、ハッキリ政府ノ御所見ヲ伺ヒ、同時ニ
反對ノ意見ヲ有ッテ居ル方面ノ人々ニ諒解
セシメルト云フコトガ必要デアラウト思ヒ
マスカラ、茲ニ箇條デ申上ゲマスカラ、之
ニ付テハッキリシタ御答ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

此様ナ小工場ハ家族的ニ勞資一體ト
ナッテ、被傭者傷病ノ場合ト雖モ、家族同
様ノ保護ヲ爲スノ美風ガ存ス、今之ヲ權
利義務ノ關係ニ置クト云フコトハ、無益
ニ勞資ノ對立ヲ生ジ、情義觀念ヲ薄カラ
シメ、徒ニ固有ノ美風ヲ破壊スルニ至ル
ベシ

原因シテ、運用上ノ支障ヲ來スコトガ甚
シク、同法ノ恩惠ヲ享受シ得ザル場合多
ク、範圍擴張ノ目的ハ達セラレナイデア
ラウ、即チ法的觀念ニ乏シク、而モ日常
職工同様ノ勞務ニ服シツ、アル小工場主
ハ、到底適法ノ手續ヲ爲ス能ハズ、隨テ
其負擔ヲ受ケナガラ、保險給付ノ權利ハ
之ヲ放棄スルガ如キコトニナルノデハナ

イカ、現ニ十人以上ノ小工場ニ於ケル適
用ノ實績ニ徴シテモ明カデアル

最後ニ、以上ノ苦痛ハ全國六萬ニ上
ル是等ノ弱小工場主ヲシテ、従業員ノ減
少ヲ圖ルニ至ラシメ、甚シキハ之ヲ厭フ
餘リ、其廢業ヲ誘致シテ、其結果失業者
ノ簇出ヲ見ルニ至ルデアラウ、加之本邦
輸出品ノ重要部分ヲ占メル織物、生絲、
金屬器具類、陶磁器、莫大小類ハ勿論、
生活必需品中木製品、紙製品、食料品、
建築材料ノ大部分ハ、此種家族的小工業
ニ於テ製造セラレルモノナルヲ以テ、是
等事業ノ盛衰ハ直ニ國際貿易及ビ大衆ノ
日常生活ニ至大ノ影響ヲ及ボス
斯様ナ理由ヲ以テ反對ノ聲ヲ上ゲテ居ル
ヤウデアリマスガ、之ニ付キマシテ政府ノ
御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス
○丹羽政府委員 御答致シマスガ、第一點
ハ、今回五人以上十人未滿ノ小工場ニ健康
保險法ヲ適用スルニ至ルナラバ、是等ノ小
工場ニ存スル所ノ家族的美風ヲ破壊スルノ
デハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマシテ、
其點ハ昨日佐保君ノ御質問ニ對シテ大體御
答シテ置キマシタガ、尙ホ十分ニ御答ヲシ
テ見タイト思ヒマス、是等ノ小工場ノ實際
ノ狀況ヲ見マスト、事業主ハ其使用ヲシテ

居ル人達ガ比較的少イガ爲ニ、是等ノ被備者ト事業主トノ關係ハ、中々密接ニ結バレテ居ルト見テ宜イト思フノデアリマス 併ナガラ實際ノ状態ヲ仔細ニ見マスト、イザ病氣ニデモナリマシタ時ニ、之ニ對スル手當ヲ良クスルト云フヤウナコトハ、中々是ハ出來難イ實情ニアルノデアリマス、事業主ガ人情ニ厚クアリマシテモ、實際病氣ニ罹リマスト、金ノ掛ル所ノ醫療ヲスルトカ、或ハ休業ヲシテ居ルニ拘ラズ、其家族ヲ含メタ者ノ生活ヲ維持シテ行クト云フヤウナコトハ、實際ノ實情トシテ容易ニ是ハ行ハレナイ事柄デアリマス、隨ヒマシテ之ヲ救濟シテ行ク必要ガドウシテモアルト思ヒマスルガ、丁度今問題ニナツテ居リマス小工場ニハ、他ノ法制上何等ノ保護ガ現在ナイ爲ニ、大體此工業労働者ノ全體ノ状態ヲ見廻シマシテモ、最モ氣ノ毒ナ状態ニアルノデアリマシテ、第三點ニ御述ニナリマシタヤウニ、是等ノ工場ニ生産サレル物ガ海外ニマデ發展ヲシテ行カウト云フノニ顧ミテ、工場ノ内ニ、甚ダ労働ノ状態、生活ノ状態ノ悪イ者ガ居ルト云フヤウナ状態ニアルノデアリマス、セメテ病氣ニ對スル手當、其病氣ノ間ノ生活ヲ維持セシメルト云フコトハ必要デアルノデアリマス、ソコデ

健康保險法ヲ實施致シマスト、平素僅ノ掛金ヲ致シテ置キマシテ、即チ日給一圓ニ付キマシテ、雇主ガ二錢ノ割合デ掛金ヲ致ス譯デアリマスガ、實際ハ是等小工場デハ日給ガ一圓以内デアリマスカラ、實際ノ掛金モ二錢以内ニナルト思フノデアリマスト、ソレ程ノ掛金ヲ致シテ置キマスト、イザ病氣ニナツタ時ニ、全部ノ醫療ヲ受ケラレルノデアリマス、而モ同一ノ病氣ニ付テ、百八十日ニ至ル迄モ醫療ガ續ケラレテ參ルヤウナ譯デアリマス、サウシテ其間ノ療養手當金ニ依ツテ、自分ハ固ヨリ家族マデモ生活ガ維持シテ行カレル、又婦人デアリマスレバ、出産ノヤウナ場合ニ、助産ノ費用ヲ貰フ、又出産手當ヲ貰フ、其外死亡ノ時ニハ、埋葬費ヲ出スト云フヤウナコトデアリマシテ、僅ノ掛金ヲ致シテ置キマスト、ソレダケノ效果ガ現ハレルノデアリマスガ、此事柄ハ昨日モ申シマシタヤウニ、個々ノ人ガ僅カニ二錢ノ貯金ヲ致シタカラト云ツテ、イザトナツタ時ニ何程ノコトニモナラナイノデアリマストガ、保險ト云フモノニ皆ガ入ルコトニ依リマシテ、其效果ヲ受クルコトガ出來ルノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ被備者ガ、實際病氣ニナリマシタ時ニ醫療ヲ受ケラレ得ルナラバ、即チ

事業主モ或ハ見舞ヲスルトカ、或ハ看護ヲスルトカ、或ハ其外ニ家ノ者ノ世話ヲスルトカ、人情ガ出テ來ル、其人情ニ依ツテ、ドウ云フコトモ出來ルヤウニナルノデアリマスト、殊ニ具體化出來ル、實現出來ルト云フコトニ相成ルノデハナイカト思フノデアリマスト、本法ハ掛金ハ強制デ出スコトニナリマスガ、使用主ト労働者ノ關係ガ、何モ新シキ法律關係ニナツテ行ク譯デモ何デモナイ、其關係ハ從來ノ通りデアリマシテ、唯掛金ヲ致スト云フコトニ、法律上ノ關係ヲ生ズルダケデアリマス、詰リ健康保險法ハ家族制度ヲ維持シ、其麗シキ美點ヲ維持スルコトガ出來ルモノダト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

趣旨ハ十分ニ分ラセル、サウシテ手續ヲ簡易ニスルト云フコトニ付キマシテハ、從來モ漸次改善ヲ致シ來ツタノデアリマスルガ、今回擴張ヲ致スニ付キマシテハ、其點ヲ一層簡明ニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、既ニ從來長ク懸案デアリマシタ所ノ掛金其他ノ金錢ノ取扱ヲ、明年度ヨリ郵便局扱ニ致シタノデアリマス、是ハ郵便局ガ從來取扱ハナカッタ爲ニ、相當複雑ナ手續ヲ要シタノデアリマス、ソレデ長イ間此改善ニ付テハ當局ト致シマシテ考究シ、他ノ關係省トモ協議ヲ致シテ居ッタノデアリマスト、此機會ニ今回之ヲ解決致シタヤウナ次第デアリマス、其外ノ點ニ付キマシテモ、十分實地ニ就テ指導シ、此趣旨ガ分ルヤウニ、又手續ヲ面倒臭ガラセナイヤウニ致ス積リデアリマス、其方法等ニ付キマシテハ、尙ホ他ノ政府委員ヨリ申上ゲテ見タイト思ヒマス

第三點ハ、此法律ヲ施行スレバ、事業主ガ労働者ヲ使ハナクナルノデハナイカ、使フコトヲ厭ガルヤウニナルノデハナイカ、ソレニ依ツテ失業者ヲ増シ、或ハ事業ガ萎靡スルノデハナイカ、サウシテ是等ノ仕事ガ輸出ニ關係シテ居ル點カラ見テ、我國ノ輸出入貿易ノ振興ヲ阻害スルノデハナイカ、斯

様ナ御尋デアリマスルガ、本法ヲ施行致シマスレバ、勞働者モ非常ニ健康デ、氣持良ク働カレ、又彼等勞働者ノ非常ナ生活ノ脅威ニナル所ノ疾病障碍ト云フモノニ對シテ保障ガアル、萬一傷病ニ罹ツタ時ニハ、生活保障サレテ居ル、是ハ彼等ノ生活ヲ安定セシムルニ非常ナ力ガアルノデアリマスルカラ、此制度ニ依リマシテ落著イテ働イテ行クト云フコトニ相成ルト思ヒマス、隨テ能率モ良ク、事業主トノ關係モ圓滑ニ、明ルクナッテ行クモノト信ズルノデアリマス、隨ヒマシテ、是アルガ爲ニ勞働者ガ職ヲ失フヤウナコトハ決シテナイ、或ハ斯様ナ法律ノ施行ニ當リマシテ、施行ノ當初、或ハ施行サレルト云フコトヲ聞イテ、左様ナコトヲ感ズル事業主モ絶無デハナイト思ヒマスルガ、併ナガライヤ此法律ガ實施サレルコトニナリマスレバ、其恩惠、其利益、利便ヲ實際ニ知ッテ、左様ナ事實ガ起ラナクナルモノト考ヘテ居リマス

次ニ輸出貿易ノ阻害ニナリハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ稍問題ガ大キク取扱ハレテ居ルト思ヒマスルガ、只今申シマシタヤウニ、生産能率ノ關係カラ申シマシテモ、本法ヲ旗行スレバ能率ヲ上ゲル、又使用者トノ關係モ良クナルト云フコ

トデ、僅ナ負擔ハアリマスルガ、是等ノ事實ニ依ッテ補テ餘リアル事柄デアルト思ヒマス、ノミナラズ今日ノ國際情勢ハ、我國ノ輸出ガ各方面デ阻マレテ居ル一ツノ理由ガ何處ニ在ルカト云ヒマスレバ、我國ノ輸出品ハ、勞働者ヲ非常ナ勞働條件ノ惡イ状態ニ置イテ輸出ガ行ハレテ居ルト云フコトガ、彼等ノ一ツノ大キナ口實デアリマス、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌコトダト思ヒマス、私共ハ彼等ノ言ッテ居ルヤウニ、我國ノ輸出ガ決シテ不正競争デアルトハ思ッテ居リマセヌ、併ナガラ斯様ナ事實ニ鑑ミマシテモ、私共ハ我國ノ國內ニ於ケル勞働條件ヲ、少シ宛デ宜シイカラ、漸次改善シテ行クト云フ努力ガ必要デアルト思フノデアリマス、若シ然ラズシテ、勞働條件ハ惡イ儘デモ、大丈夫輸出ハ出來ルト思ヘバ、ソレハ大キナ間違デ、今日ノ國際情勢ハ決シテ左様ナモノデハナイト思フノデアリマス、隨テ今回此雜貨類ノ生産ニ關スル勞働條件ガ、僅デハアリマスルガ、健康保險法ニ依ッテ保障サレ、バ、輸出貿易ノ阻害ニナルト云フヤウナ點ハ、如何ナル觀點カラ見マシテモ、無イト思ッテ居ル次第デアリマス

尙又民衆生活ニ及ボス影響ガ惡イト云フ

ヤウナ陳情者モアルサウデアリマスガ、是モ私ハ問題ヲドウ云フ風ニ取扱ッテ言ハルルノカ、民衆ノ生活、大衆ノ生活ト云フモノハ、即チ本法ノ適用ヲ受ケテ居ル被保險者ノ如キ者ヲ云フノデアリマシテ、是等ノ人達——是等ノ人達ダケデアリマセヌ、固ヨリ廣ク農村ノ人モアリ、商工業ノ人モアリマスルガ、是等ノ人ニ少シデモ恩惠ガ行クト云フコトハ、寧ロ民衆ノ生活ヲ安定セシムル所以デアリマス、ソコデ其陳情書ニアル所ハ、恐クハ生産費ガ増ス、斯ウ云フ意味ダラウト思ヒマスルガ、先程來申シマシタヤウニ、本法ノ施行ニ依ッテ生産ノ能力ヲ増シ、勞働者トノ關係モ良クナリ致シマスレバ、生産費ハ寧ロ減ズル、サウシテ色色ノ影響ガ宜シクナルト思フノデアリマスルガ、生産費ハ從來ト同ジデアリマシテモ、是等ノ被保險者自體ガ、即チ大切ナル我國ノ勞働力デアリ、我國ノ大切ナル國民大衆ノ一部デアリマスルカラ、是ノ生活向上ト云フコトハ望マナケレバナラヌト思フノデアリマス

以上大體申上ゲマシタガ、尙ホ第二點ノ手續ノ問題ニ付テ、川西政府委員カラモウ少シク附加ヘテ御答致シテ置クコトニ致シマス

○川西政府委員 健康保險法ノ事務ガ煩鎖

デアリ、法令ガ難解デアルト云フ點ハ、現在竝ニ此新シキ立法ヲシヨウトシマスル將來ニ對シテ、世間ノ不安ヲ喚起シテ居ルト云フ點ニ付キマシテハ、其事務ノ直接ノ局ニ當ッテ居リマス私共ト致シマシテ、非常ニ眞面目ニ考ヘナケレバナラヌト思ッテ居ル次第デアリマス、實ハ今度ノ被保險者ノ範圍ヲ擴張スル案ヲ議會ニ提出致シマスニ當リマシテ、何時カラ之ヲ施行スルカ、斯ウ云フ問題ニ付テ、普通唯被保險者ノ範圍ヲ擴張スル、斯ウ云フ問題トシテ簡單ニ考ヘマスレバ、既ニ健康保險法施行以來、七箇年ノ歲月ヲ經テ居リマスシ、全國各府縣ニ此専門ノ職員ガ配置サレテ居リマス、其組織ノ下ニ、其熟練シタ事務員ニ依ッテ、此仕事ガ行ハレル譯デアリマスカラ、從來ノ普通ノ法律ノ施行ノ如ク、或ハ二箇月、三箇月ノ準備期間ヲ以テ施行スルト云フコトモ考ヘラレナイ譯デアリマセヌ、併ナガラ私共ハ此健康保險ノ性質ガ、先程モ一寸申上ゲマシタヤウニ、本當ニ人ニ喜バレルベキ性質ノモノデナケレバナラヌ、今度新シク擴張ノ對象トシヤウトスル人達ハ、確ニ御話ノ通りニ細々シタ事業ノ人達ガ多イ、斯ウ云フ方々ガ唯法令ハ官報ニ出テ居ル、何

何ノ規則ニアルト云フヤウナコトデ、此健康保險法ヲ十分理解シテ——殊ニ今迄ハ關係ガナイシ、又關係サレテモ容易ク理解サレルト云フ風ナコトモ想像出來マセヌ、何トカ此被保險者本位ニ出來テ居ル法令ヲ、十分ニ理解シテ戴イテ、十分ニ喜バレルヤウナ風ニ運用ヲシテ行キタイ、ソレニハ御話ニ出マシタ、又世間ノ噂ニモアリマスヤウナ法令ノ趣旨ヲ明ニスル手續ニ付テ、出來ルダケ被保險者、事業主側ニ迷惑ヲ掛ケヌヤウニスル、斯ウ云フコトニウント一ツカヲ入レテ見ヤウヂヤナイカ、ソレニハ先ヅ規則ノ上カラ申シマスレバ、勅令以下省令、其他告示、諸様式ノ類ニ至ルマデ、十分檢討ヲ遂ゲテ見タイ、斯ウ云フ問題ハ何モ此際新ニ起ツタ問題デゴザイマセヌカラ、平素ニ於テモサウ云フ注意ヲ致シツ、今日マデ參ッテ居ルノデアリマスケレドモ、殊ニ斯ウ云フ機會ニ於テ、一ツ確カカリト其點ヲ見直シテ見ヤウト云フ譯デ、實ハ既ニ大分前カラ斯ウ云フ思ヒ付キヲ致シマシテカラ、部内ニ於キマシテ、今日マデ各方面カラ色々、或ハ書面ノ上デ、或ハ口頭ノ上デ聞キマシタ御意見ヲ洗ヒ浚ヒニ整理シテヤリツ、アル所デアリマス、更ニ如何ナル點ニ於テ事務ヲ簡易ニ爲シ得ルカ、斯ウ

云フコトニ付テハ、先程長官ノ御述ニナリマシタ永年ノ問題デアル、郵便局取扱問題ノ解決ヲ第一歩トシテ——從來ハ日本銀行ノ本支代理店、並ニ各府縣ノ保險課等ニ於テ扱ヒマシテ、四百六十餘リノ銀行、代理店、支店等デアリマスガ、ソレ等デハ保險金ヲ納メルダケデモ相當ナリ日數ガ掛ル、斯ウ云フ苦情モアリマシタノデ、ソレヲ全國一萬近クノ郵便局デ扱ッテ貫フヤウニ話ヲ付ケル、斯ウ云フコトヲ第一歩ト致シマシテ、若シ省キ得ベキ書類ガアレバ省カウ、若シ備付ケヌデモ宜イヤウナ裏帳ガアレバ、ソレモ一ツ省イテ行カウ、文書デナクシテ口頭デ濟ムモノガアレバ、口頭ノ届出モ大ニ簡易ニ受ケルヤウニシヨウヂヤナイカ、更ニ此新シキ案ヲ愈々實施スル場合ニ要スル人ノ配置ト云フモノモ、餘程今ノヤウナ目的ヲ達スル爲ニ周到ニ行クヤウニ配置ヲスル、從來ノ經驗者モ其方面ニ大ニ加勢ヲスル、ノミナラズ從來ノ本當ノ經驗ノアル人ヲ、サウ云フ方面ニ第一線ニ立タセルヤウニスル、細カク言ヘバ、サウ云フ事業ノ方面毎ニ指導區域、指導係ト云フヤウナモノヲ定メマシテ、唯御役所式ト云ヒマスカ、サウ云フ態度デナクシテ、初ニモ申上ゲマシタヤウニ、此事業ガ眞ニ他ノ取締的ナ仕

事ト違ッテ、殊ニ況ヤ被保險者ト事業主カラ出タ掛金ヲ主ニシテ、ソレヲ吾々ガ喜バレルヤウニ取扱フト云フ使命ヲ帯ビテ居ル性質ニ鑑ミテ、親切ニ指導ト申シマスカ、何ト申シマスカ、扱フヤウニシヨウ、サウ云フ眼目デ、既ニ各地方廳ニ對シマシテハ、實際ノ事務ヲ取扱ッテ居ル人達ニ對シテ、十分サウ云フ意見モ述ベル機會ヲ近ク持ツヤウナ御膳立モシテ居リマス、又更ニ各當業者ノ意見ト云フモノモ十分ニ伺ッテ、サウシテ此準備期間ノ一箇年ノ間ニ、サウ云フ風ナ目途ニ向ッテ諸般ノ手續、其他様式等ニ關スル法令ノ簡易化ト云フコトニ力ヲ入レタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、色々サウ云フ目途デヤッテ參ル譯デアリマスノデ、今具體的ニドノ様式ヲドウ、ドノ帳簿ヲドウト云フ所マデハ至ッテ居リマセヌガ、ソレハ眞劍ニ、私共眞面目ニヤッテ、出來ルダケ苦情ノ少イヤウニ致シタイ、斯ウ思ッテ居リマス、ソレカラ先程長官ノ御話ノ中ニゴザイマシタコトデ一寸數字的ニ附加ヘテ申上ゲテ置イタ方ガ宜イと思フ事ガゴザイマスノデ申上ゲマス、ソレハ健康保險ヲ嫌ッテ、其適用ヲ遁レヤウトスルヤウナ人ガ無イデハナカラウ、隨テ失業問題等ニモ關係ヲ有ッテ來ハシナイカト云フ問題ニ對シマシ

テ、實地調査ヲ諸工場方面ニ付テサセマシタ、其模様ヲ一寸御參考ニナルカト思フ點ヲ申上ゲマス、色々事業主ヤ勞働者ニ付テ、不用意ノ裡ニ健康保險ニ對スル態度ヲボツボツ聽カシマシタ中ニ、曾テ病氣ニナッタトカ、或ハ曾テ自分ノ雇ッテ居ル勞働者ガ病氣デ、事業主ガ色々ト失費シタトカ云フ經驗ヲ持ツ人達ハ、一モ二モナクト申シテ宜イ位ニ、保險ノヤウナ制度ガアレバ結構ダト云フコトヲ、殆ド例外ナク申サレルヤウデアリマス、人情ノ常ト致シマシテ、自分ガ健康デ居ル間ハ中々病氣ノ實感ガ出ナイ、自分達ノ療養ノ給付或ハ傷病手當金等ニ充テラレルモノデモ、何カ掛金ト云フト稅デモ取ラレルヤウナ風ニ思フト云フノガ人情ノ常デアリマセウ、實際サウ云フ風ナ經驗ヲ持タレタ人ハ態度ガ違フヤウデアリマス、現ニ現在ノ制度ニ於テ、任意包括被保險者ト云フモノガゴザイマス、法第十四條デアリマス、詰リ今回改正致シタイト云フ案ノ對象ニナッテ居ルモノデアリマス、此中デ曾テ法第十三條ニ該當シテ、工場法等ノ適用ヲ受ケテ居ッタ、ソレガ人数ヲ縮少シタ爲ニ工場法ノ適用ヲ受ケナイ、斯ウ云フノガ自然任意包括被保險者トシテ或ル程度ノ數殘ッテ居リマス、其外ニ或ル勞働者ガ

工場法ノ適用ヲ受ケテ居ル工場事業場等デ
動イテ居リマシタ人ガ、今度小サナ、工場
法ノ適用ヲ受ケナイ所——隨テ現在ノ強制
被保險者トシテ適用ヲ受ケナイ所ニ居ル勞
働者ガ、曾テノ經驗カラ、何トカ吾々モ一
ツ任意包括被保險者ニ入りタイ、斯ウ云フ
希望ヲ申出テ、事業主モ理解ガアリ、事業
主ノ容ル、所トナツテ、現ニ工場關係デモ加
入ヲシテ居リマス者ガ、人數デ申上ゲマス
ト二千人餘リ、工場デ申シマス二百二十六
バカリアリマス、其他現在ニ於キマシテ或
ル地方ノ如キハ、健康保險ノ適用ノアル工
場ナラ自分ハ雇ハレテ行ケレドモ、サウ
デナイ所ハ厭ダト云フコトヲ明ニ言フヤウ
ナ、比較的的理解ノアル地方モゴザイマス、
詰リ先程長官ノ御話ニアッタヤウニ、是ガ布
カレタカラ失業ガ特ニ殖エルト云フコトヨ
リハ、寧ロ能ク分ッテサヘ戴ケレバ——サ
ウシテ其能ク分ラセルノハ私共ノ非常ニ大
キナ責任デゴザイマスガ、能ク分ッテサヘ戴
ケレバ相當喜バレルモノデナカラウカ、斯
ウ思ヒマスノデ、附加ヘテ申上グル次第デ
アリマス

ツヲ強制被保險者ノ方ヘ入レナカッタ——
除イタト云フノハ、ドウ云フ御考デアリマ
セウカ、之ヲ御尋シタイ、私共土木工事ニ
従事スル労働者ノ如キハ隨分危険モ伴ヒ、
斯様ナ被保險者トスルコトガ必要デハナ
イカト云フヤウニ考ヘラレマスガ、其點ハ
ドウデアリマセウカ、斯様ナ労働者ハ多ク
移動性ノアルモノデ、被保險者トスルニハ
手續上色々ナ面倒モアラウト思ヒマスガ、
其仕事ノ性質上カラ、強制加入ニサセルノ
ガ適當デハナイカト思ハレマス、此點ニ付
キマシテ御伺シタイト思ヒマス、ソレカラ
改正案ノ第三號ノ(ホ)「勅令ヲ以テ指定ス
ル」此勅令ノ範圍、ソレカラ改正案ノ十四
條ノ第一項ノ四號ニモ矢張「勅令ヲ以テ指
定スル」コトニナツテ居リマスガ、此勅令ノ
内容ニ付キマシテ、今御分リニナツテ居ル
程度デ結構デアリマスカラ、御聽カセヲ願
ヒタイト思ヒマス

全然同様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、唯併ナガラ御話ノ中ニモアリマシタヤ
ウニ、非常ニ移動性ガアルト申シマスル
カ、不特定ナル者ガ多イト申シマスルカ、
他ノ工場其他ノ事業トハ、餘程労働者ノ狀
態ガ違ッテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレデ
アリマスルカラ、唯之ヲ今マデト同ジ方法
デ強制加入ノ被保險者ニ致スト云フコトニ
ハドウカ、相當ニハ方法ヲ考ヘナケレバナ
ラナイノデハナイカト云フ考ヲ有ッテ居ル
ノデアリマス、實ハ色々其方面ノ人達ノ意
見ヲモ段々聞イテ居ルノデアリマスルガ、
強制被保險者ニナルト云フコトハ結構デア
ル、併シ組織ヲ一ツ十分研究シヨウデヤナ
イカト云フコトニナツテ居ルヤウナ譯デア
リマシテ、今後引續イテサウ云フ方面ヲ研
究シ、適當ナル方法ヲ得マスレバ、強制被
保險者ノ範圍ニ加ヘテ行キタイ、斯様ニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

ル所ノ自動車ノ運輸事業、是ハ一定路線ニ
依ル旅客竝ニ貨物ノ定期運送デアリマス、
其事業、ソレカラモウ一ツハ、自動車運輸
事業以外ノ、自動車ニ依ル運送事業デア
テ、地方長官、東京府ナラ警視總監、地方
長官ノ免許ヲ受ケタモノ、「タクシ」ナン
カガソレニ當リマス、ソレカラモウ一ツハ、
主トシテ自動車ニ依ル貨物運送ノ營業、之
ヲ矢張指定致シテ居リマス、ソレカラ最後
ニ索道ニ依リマス運送事業、大體此十三條
ニ付テノ勅令ノ腹案ハ、サウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、十四條ノ方ニ付キマシテハ、
差當リ指定スベキ見込ノモノヲ有ッテ有リ
マセヌ

○丹羽政府委員 私カラ第一點ノ御尋ニ對
シテ御答ヲ致シマス、土木、建築業ノ従事
員、又貨物積卸業ノ労働者ト云フモノヲ、
何故強制被保險者ノ範圍ニ取入レナカッタ
カ、斯ウ云フ御尋デアリマス、是等ノ労働
者ヲモ強制被保險者ノ範圍ニ取入レルコト
ガ必要デハナイカト云フ御意見ハ、吾々モ

○川西政府委員 御尋ノ第二點、第十三條
ノ(ホ)勅令、竝ニ第十四條ノ第四ノ勅令
デ指定シヨウトスル事業ニ付テ御答申上ゲ
マス、只今腹案ト致シマシテ有ッテ居リマ
スモノハ、第十三條ノ第三號ノ、此規定ニ
依ッテ、差當リ指定致シタイト思ッテ居リマ
スモノハ、一ツハ自動車、交通事業法ニ依

○松尾委員 十三條ノ(イ)「物ノ製造、加
工」之ニ付キマシテハ、先刻毛川西保險部
長ノ御話ノ如ク豆腐屋ノヤウナ、靴屋ノヤ
ウナモノハ、製造シテ販賣スルモノハ、此
中ニ含まナイ見込ダト云フ御話デアリマス
ルガ、サウ致シマスルト、製造及ビ販賣スル
モノハ、ドンナ大キクヤッテモ含まナイト
云フヤウニ考ヘラレマスルガ、ドウ云フモ
ノデアリマセウカ、ソレカラ洋服屋ノ洋服
モ、是ハ一ツノ製造デアルシ、同時ニ又販
賣スルト云フコトニモナルシ、或ハ印刷業
トカ、サウ云フヤウナモノハ、此中ニ入ル

カドウカ、ソレカラ(ロ)「鑛物ノ採掘又ハ採取」是ガ季節的ニヤルヤウナモノガアルノデアリマス、北海道ノヤウナ寒イ處デアリマス、夏季ノ間ダケ砂金ノ採取ナドヲ多數ノ労働者ヲ使ッテヤッテ居ルモノガアリマス、冬ハソレヲ休ンデ居ル、夏季ニヤッテ居ル、斯ウ云フヤウナモノモ此中ニ入ルカドウカ、(ハ)「電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生」是ハ此電氣事業法ニ依ッテヤルノモ含ンデ居リマセウカ、市町村ガ電氣事業ナドヲヤッテ居ル、斯ウ云フヤウナ公共團體ノヤッテ居ル場合ニハ、ドウ云フ風ニナリマスカ、此點ダケヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

○川西政府委員 此第一番ノ御尋ノ製造ト販賣トノ關聯シタ問題デゴザイマス、是ハ其洋服屋ニ致シマシテモ、印刷業ニ致シマシテモ、詰リ外カラ見マシテ、是ハ結局

常識的ノ問題ニナルト思ヒマスガ、洋服ノ製造ソレ自身、印刷業ソレ自身ガ、一定ノ此獨立的ノ系體ヲ整ヘテ、繼續的ニ行ハレテ居ル、斯ウ云フ風ニ見ラレル場合ハ適用ガアラウト思ヒマス、サウデスカラ例ヘバ大キナ洋服屋サンニシテモ、色々アラウト思ヒマスガ、大キナ洋服屋デアリマシテ、一方ニ販賣部ヲ有チ、一方ニ洋服ノ製造部ト云フモノガアッテ、其製造ノ方デハ始終洋服

ノ製造ニ從事シテ居ル人ガ居ル、斯ウ云フ仕組ニナッテ居リマスレバ、其製造部ノ方ノ人達ニハ、恐ラク健康保險法並ニ工場法ノ適用モアル、斯ウ云フ觀念デアリマス、其觀念カラ申シマスレバ、詰リ十人以上ノ場合ニ工場ト見ラレル程度ノ獨立性ヲ有ッテ居ル事業ハ、是ハ十人以下ノ場合ニ於テモ健康保險法ノ適用ヲ受ケルモノトスル、併シ拵ヘテ又ソレト同ジヤウナ人ガ賣ル、賣ル人ト拵ヘル人ガ殆ドチヤンボンデアル、右カラ左ヘト云フヤウナ工程ノ下ニ、外カラ見テ、御互ニ獨立シテ居ルノデナイト云フヤウナ状態ニアルモノハ、是ハ適用ヲシナイ、斯ウ云フ風ナ考デ居リマス、個々ノ具體的ノ場合ニ付テ判斷ヲシナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレハ先刻申上ゲマシタヤウニ、本當ニ疑ハシイ場合ハ、サウ無理ト適用ヲスルト云フヤウナ態度デナク行キタイ、斯ウ云フ積リデ居リマス、ソレカラ鑛物ノ問題、北海道等ニ於キマス季節的ノモノ、是ハ鑛物ニ限りマセズ、他ノ仕事ニ於キマシテモ、季節的ニ行ハレル事業ハ、只今ノ制度ニ於キマシテモ、健康保險法ノ適用カラ除外致シテゴザイマス、只今ノ制度ニ於キマシテハ、季節的業務ニ使用セラレ

ラレナイモノハ、適用ノ範圍外ニ置イテ居リマス、ソレデ此見地カラ參リマス、實際其事業ガ繼續シテ百二十日以上行ハレルモノデアルカナイカト云フ問題デ、判斷ヲスベキデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ第三番目ノ電氣ノ傳導事業、是ハ私ハ甚ダ迂闊デ、ドウ云フ風ナ例ガ市町村ニアルカ能ク存ジマセヌガ、此處ニ申シマス「電氣ノ傳導、又ハ動力ノ發生」斯ウ云フノハ電氣其他ノ動力ヲ、動力トシテ傳導スルト云フ事業ヲ指スノデアリマシテ、傳導トカ或ハ電氣ヲ其先々デ使ヒマシテ電話ヲヤル、斯ウ云フノハ此觀念ノ中ニ入ラナイ、詰リ高壓ノ電流トカ、或ハ其他ノ傳導ヲスルコト自體トシテ行ッテ居ルト云フ事業ガアリマスレバ、ソレハ公共團體デアッテモ適用ガアラウト思ヒマスガ、サウデナイト程度ノモノハ、電氣ヲ使ッテ居ル仕事ヲ致シテ居リマシテモ、適用ガナイト云フ譯デアリマス

コトハ、非常ニ困難デナイカト思ハレマスガ、矢張是デ行ケバ、ソレモ之ヲ適用スルト云フコトニナルト考ヘテ宜シウゴザイマス

○川西政府委員 只今ノ制度ハ、丁度勅令

ノ第九條ニ御尋ノ問題ガ當デ居ル譯ナノデアリマス、ソレデ只今ノ制度ニ於キマシテハ、勅令ノ第九條ニ四ツバカリ列擧致シテアリマスガ、其最後ニ「前各號ニ掲ケルモノノ外内務大臣ノ定ムルモノ」トシテ、内務大臣ガ百二十日以上使用セラレルモノヲ除イテ、其他ノ季節的ノモノハ除外スル、斯ウナッテ居リマス、現在ノ遣リ口デハ、サウ云フ風ニ適用ガアルモノト認メテ居リマス

○松尾委員 大體此改正案ニ付テハ分リマシタガ、之ニ關聯シマシテ、現行法ニ付テ

參考ニ御伺シタイコトガ二、三アルノデアリマス、現在ノ支給條件デアリマスガ、例ヘバ四十五條ニアル期間、或ハ報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ト云フヤウナ條件デアリマス、是ハ昨日モドナタカ御質問ニナッタヤウデアリマスガ、此健康保險法ヲ被保險者モ、或ハ不景氣ノ場合ニハ事業者モ、悪用スルト云フヤウナコトヲ私共聞イテ居リマシタガ、實際分曉間際ニナッテ

急ニ被保險者ニナルト云フヤウナ場合モアル、ソナヤウナ例モアリマスカラ、之ヲ

ザイマスカ、先ヅ此點ヲ御尋シタイト思ヒマス

アリマス、今マデノ經驗ニ依リマスト、此人數ヲ特ニ動かス必要ハナイヤウニ思ッテ

ダ、斯ウ云フ風ナ意味ニ於テ折角研究中デアリマス

モウ少シ期間ヲ、所謂待期ヲ長クスルト云フヤウナ必要モアルノデハナイカ、ソレカラ入院患者ノヤウナ場合ニハ、モウ此法ノ四十五條ニアル四日ト云フヤウナ待期ハ無クシテ、直チニ入院シテ其療養費ヲ給スルト云フヤウナ必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマスカ、ソレハドウ云フモノデアリマスカ、ソレカラ此改正案ニ直チニ關聯致シマシテ、第三十一條ニアル「常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマスカ、此五百人ヲモウ少シ低減スル必要ハナイカ、二十八條ノ一項、二項ニモアリマスカ、三百人位ニ之ヲ低減シテ組合ヲ組織セシメ、或ハ命ズルト云フコトガ必要デナイカト考ヘラレマスカ、サウ云フ必要ハ認メラレナイノデアリマセウカ、ソレカラ七十六條ニ保險料ノ徵收免除ト云フヤウナ規定ガアリマスカ、此第一號ノ傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ヲ受クルトキニハ保險料ヲ徵收スルコトガ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマスカ、是モ實際ニ於テハ、徵收シタ方ガ宜イト云フ意見ヲ私共聞イテ居リマスカ、如何ナモノデゴ

○川西政府委員 第一番ノ御尋ノ保險ノ濫用ヲ防止スル爲ニ、待期ヲ現在ノ制度ヲ變ヘテモウ少シ長クスル、但シ入院患者ノ場合ハ、寧ロ此待期ヲ狭メタラドウカト云フ問題ハ、是ハ實ハ此保險ノ濫用ヲ出來ルダケ少クスル爲ニ、色々研究ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、其對象ノ一ツトシテ、待期ノ問題モ研究ノ對象トナツテ居ル譯デアリマス、只今ノ所デハ、待期ヲ是レ以上長クスル必要ハ、サウナカラウデナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、但シ入院患者ノ場合ハ全ク御話ノ通りデ、只今ノ制度ニ依リマスト、入院患者ノ場合ハ地方長官ノ許可、或ハ組合ニ於キマシテハ、保險組合ノ許可ヲ受ケルト云フ風ニナツテ居リマスノデ、斯ウ云フ方面ニハ、只今アリマスト待期ヲ省イテモ宜イデハナイカ、斯ウ云フ譯デアリマス、第二番ノ問題ハ、三十一條及ビ二十八條デ、組合ヲ組織スル場合ニ於ケル人数ヲ、三百人又ハ五百人ヨリ少クスルト云フ考ヘナイカ、組合ヲ先方ノ申請ニ依ッテ設立ヲ認可スル場合、又大臣ノ強制命令ニ依ッテ設立サセル場合、此二ツノ場合ガ丁度御尋ゲニナリマシタ各條ノ問題デ

テ居リマセウ、ソレカラ第三番目ノ七十六條ノ保險料免除ノ問題ニ付キマシテ、傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ヲ受ケル期間保險料ヲ取ルト云フコトニシテハト云フ御意見、御説ニ對シマシテハ、私共モ折角研究中デアリマシテ、私共ガ只今研究致シテ居リマスノハ、此問題ト併セテ、若シ斯ウ云フ風ニシテ一方被保險者カラ保險料ヲ取り、同時ニソレガ又被保險者ノ福利ニナルヤウニ良イ方法ニ利用出來レバ洵ニ結構

○松尾委員 最後ニモウ二、三御尋シテ見タイト思ヒマスカ、此健康保險ノ成績ヲ向上サセルノニハ、病氣或ハ傷害ナドニ罹ラテカラ、之ニ療養ヲ給付スルト云フヨリハ、寧ロ罹ラナイ前ニ、其罹ラナイヤウナ方法ヲ講ズルト云フコトガ、先ヅ必要ナ事柄デハナイカト思ヒマス、ソレニ付キマシテ政府ノ直接監督シテ居ラレル方面ナリ、或ハ組合ナドガ、斯様な災害ノ防止トカ、或ハ疾病ニ罹ラナイト云フ、健康ノ増進ト云フヤウナ事柄ニ付キマシテ、政府ナリ或ハ地方ノ組合ナリニ於テ、積極的ナ仕事ヲシテ居ラレルカドウカ、サウシテ其成績ガ擧テ居ルカドウカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ地方ニアル組合員ノ選舉ニ付キマシテ、可ナリ競争ノ行ハレテ居ル所モアルヤウニ私共聞キマスカ、之ニ付キマシテ弊害ガ伴ッテ居ルヤウナコトガアルカナイカ、アルトスレバドウ云フ風ナ御取締ニナツテ居ルカ、ソレカラ組合ト、組合デナイ地方デ監督シテ居ラレル分ト、ドウ云フ風ニ成績ガ違フカ、何レガ良イカト云フヤウナ點モ、參考ニ御聽キシタイト思ヒマス、ソレカラ現在地方ニ於ケル事務

ハ、警察部で取扱フテ居ラレマス、工場法モ
サウノヤウデアリマスガ、此健康保險課ト
云フモノガ警察部ニ屬シテ居リマスガ、私
共那樣ナ社會的ノ事業ハ、寧ろハ社會課
關係ト云フヤウナ意味ニ於テ、學務部ノ方
ニ屬セシメタ方宜イノデハナイカ、其方
ガ體系上宜イデハナイカト云フ風ニ考ヘラ
レマスガ、是ハ特ニ警察部ニ屬セシメテ置
クト云フノハ、何カ特別ナ理由ガアルカド
ウカト云フコトヲ御聽キシタイト思ヒマ
ス

○川西政府委員 第一點ハ、病氣ニ罹ラヌ

前ニ豫防ヲスルコトガ必要デアル、其爲ニ
ドウ云フコトヲヤツテ居ルカ、其效果ハドウ
デアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ拜承致シ
マシタ、全ク御説ノ通りデゴザイマシテ、
何事デモサウダト思ヒマスガ、殊ニ此健康
ノ問題ニ付キマシテハ、豫防ガ大切ダト思
ヒマス、ソレニ付キマシテハ政府ハ固ヨ
リ、各健康組合ニ於キマシテモ、保險施設
費ト云フ費用ヲ特ニ豫算ノ中ニ掲ゲマシ
テ、毎年其爲ニ各種ノ催シヲ致シテ居ル譯
デアリマス、或ハ講演會、同時ニ活動寫眞
ノ映寫、或ハ衛生展覽會、或ハ運動會、競
技會等ノモノカラ、健康診斷、其他諸般ノ
印刷物ノ配付等ヲ行ッテ居ルヤウナコト、ソ

レカラ更ニ寄生蟲ノ驅除ト云フヤウナ事柄
モ、最近ニ於テハ特ニ力ヲ入レテヤツテ居
リマス、是ハ政府ニ於キマシテハ、大體毎
年十五萬圓カラ二十萬圓見當ノ金ヲ之ニ充
テ、計畫ヲ立テ、ヤツテ居リマス、組合ニ於
キマシテモ二十二、三萬圓ヲ此方面ニ支出
致シテ居リマス、最近ニ於キマシテハ、政
府ノ方ニ於キマシテハ、勞働者ノ被保險者
ノ比較的多イ所ノ保險課ニ「レントゲン」ノ
設置ヲ、既ニ一箇所ハ設ケテアリマスガ、
更ニ四五箇所重要ナ所ニ設ケタイ、斯ウ云
フ計畫ヲ進メテ居リマス、此施設ニハ段々
ト力ヲ入レテ參リマシテ、出來ルダケ傷病
ヲ事前ニ防グヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風
ニ思ッテ居リマス、ソレカラ第一番目ノハ、
一寸私伺漏シマシタガ、組合ト政府ト較ベ
テドチラガ宜イカ、其成績デゴザイマスナ
（松尾委員「サウデゴザイマス」ト呼フ）是ハ
ドウモ御尋ノ御趣意ガ何處ニアルカ、一寸
ナンデアリマスガ、ソレノ「特長ヲ持ッテ能
力ヲ發揮シツ、アルヤウニ思フノデアリマ
ス、組合ニ於キマシテハ、先程申上ゲマシ
タヤウニ、相當ナ規模ノ、相當基礎ノ確實
ナモノガ、自治的ニ其保險ノ事務ヲ政府ノ
監督ヲ受ケナガラ處理シテ行ッテ居リマス、
政府ト致シマシテハ、組合ニシマシテモ、

政府管掌ニ致シマシテモ、共ニ健康保險法
ノ所期ノ效果ヲ舉ゲルト云フコトヲ目的ト
シテ、其間ニ何等ノ差別ヲ以テ見テ居リマ
セヌ、隨テ組合側ニ對シマシテモ、組合ノ及
バヌ所ヲ出來ルダケ是正シテ、サウシテ其
特長ヲ十分ニ發揮セシメルヤウニ致シマ
ス、又全部ガ組合ニナリ得ル性質ノモノデ
アリマセヌカラ、政府ガ管掌シテ行フニモ、
其缺點ハ出來ルダケ是正シテ、又特長ヲ發
揮セシメル、斯ウ云フ風ニヤツテ居リマス、
或ハ組合ノ方ガ給付ガ早ク貰ヘル、政府ノ方
ハソレニ較ベルト手間ガ取レル、斯ウ云フ
ヤウナ意味カラ云ヘバ、實際極ク小範圍ノ
手近ナ組合ニ於テ行ハレルコト、ソレカ
ラ全國廣ク、或ハ一府縣、廣イ範圍ニ互ッテ
事務ヲ行ッテ居ル政府管掌ノ所ト、多少サウ
云フ風ナ差別ガアル、併シソレヲ以テ直チ
ニ政府ノモノガ惡イトカ、組合ガ良イト、
斯ウ云フヤウニ判斷シ兼ネルノデハナイカ
ト思ヒマス、要スルニ兩方トモ一ツノ法制
ノ下ニ、一ツノ目的ヲ以テ、十分ニ至ラヌ
所ヲ矯メ、特長ヲ發揮セシメル、斯ウ云フ見
地デ扱ッテ居リマスノデドチラガ優ッテ居
テ、ドチラガ劣ッテ居ルト云フコトハ、私共
ノ眼ニ映ッテ居リマセヌ、ソレカラ第三番目
ノ保險事業ノ主管部ニ付テノコト、是ハ成

程社會事業ト云フヤウナ觀念カラ申シマス
レバ、只今ノ制度ニ於キマシテハ、學務部
ニ於テ社會事業ト云フヤウナ方面ヲ分擔シ
テ居リマスカラ、一見學務部で扱フノガ宜
クナイカト云フ御議論モ出ルカモ知レマセ
ヌケレドモ、御承知ノ通り保險ノ事務ハ、
災害ノ豫防ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、
警察部ニ於ケル工場課、保安課等ト始終連
絡シ、共同シ、又保險施設ヲ行ヒマス上ニ
於キマシテモ、衛生課等トモ密接不離ノ關
係ニ立ッテヤラナケレバナラス、斯ウ云フ風
ナ狀態デ、私共ノ考ト致シマシテハ、矢張
警察部デヤツテ行クト云フコトガ適當デハ
ナカラウカ、唯異々モ事業ノ本質ガ取縮
ト云フヤウナコトヲ主ニシタモノデアリマ
セヌカラ、所謂警察部デ「サーベル」ヲガチ
ヤ付カセルト云フヤウナ意味ニ於ケル、ギ
ゴチナサガナイヤウニ努メル必要ガアラ
ウ、政府トシテハ只今ノ所ガ宜カラウト
思ッテ居リマス、ソレカラ組合會議員ノ選舉
ニ付キマシテ、只今マデ競争ガアッテ取縮
ヲ要スルヤウナ弊害ガアッタト云フコトヲ
耳ニ致シテ居リマセヌガ、全國三百四十組
合ガゴザイマスガ、其監督ニ付キマシテ、
私共ハ管ニ書面ノ上ニ於テ、選舉ノ問題ヲ
色々議事録等ニ依ッテ調べルコトノミナラ

政府管掌ニ致シマシテモ、共ニ健康保險法
ノ所期ノ效果ヲ舉ゲルト云フコトヲ目的ト
シテ、其間ニ何等ノ差別ヲ以テ見テ居リマ
セヌ、隨テ組合側ニ對シマシテモ、組合ノ及
バヌ所ヲ出來ルダケ是正シテ、サウシテ其
特長ヲ十分ニ發揮セシメルヤウニ致シマ
ス、又全部ガ組合ニナリ得ル性質ノモノデ
アリマセヌカラ、政府ガ管掌シテ行フニモ、
其缺點ハ出來ルダケ是正シテ、又特長ヲ發
揮セシメル、斯ウ云フ風ニヤツテ居リマス、
或ハ組合ノ方ガ給付ガ早ク貰ヘル、政府ノ方
ハソレニ較ベルト手間ガ取レル、斯ウ云フ
ヤウナ意味カラ云ヘバ、實際極ク小範圍ノ
手近ナ組合ニ於テ行ハレルコト、ソレカ
ラ全國廣ク、或ハ一府縣、廣イ範圍ニ互ッテ
事務ヲ行ッテ居ル政府管掌ノ所ト、多少サウ
云フ風ナ差別ガアル、併シソレヲ以テ直チ
ニ政府ノモノガ惡イトカ、組合ガ良イト、
斯ウ云フヤウニ判斷シ兼ネルノデハナイカ
ト思ヒマス、要スルニ兩方トモ一ツノ法制
ノ下ニ、一ツノ目的ヲ以テ、十分ニ至ラヌ
所ヲ矯メ、特長ヲ發揮セシメル、斯ウ云フ見
地デ扱ッテ居リマスノデドチラガ優ッテ居
テ、ドチラガ劣ッテ居ルト云フコトハ、私共
ノ眼ニ映ッテ居リマセヌ、ソレカラ第三番目
ノ保險事業ノ主管部ニ付テノコト、是ハ成

程社會事業ト云フヤウナ觀念カラ申シマス
レバ、只今ノ制度ニ於キマシテハ、學務部
ニ於テ社會事業ト云フヤウナ方面ヲ分擔シ
テ居リマスカラ、一見學務部で扱フノガ宜
クナイカト云フ御議論モ出ルカモ知レマセ
ヌケレドモ、御承知ノ通り保險ノ事務ハ、
災害ノ豫防ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、
警察部ニ於ケル工場課、保安課等ト始終連
絡シ、共同シ、又保險施設ヲ行ヒマス上ニ
於キマシテモ、衛生課等トモ密接不離ノ關
係ニ立ッテヤラナケレバナラス、斯ウ云フ風
ナ狀態デ、私共ノ考ト致シマシテハ、矢張
警察部デヤツテ行クト云フコトガ適當デハ
ナカラウカ、唯異々モ事業ノ本質ガ取縮
ト云フヤウナコトヲ主ニシタモノデアリマ
セヌカラ、所謂警察部デ「サーベル」ヲガチ
ヤ付カセルト云フヤウナ意味ニ於ケル、ギ
ゴチナサガナイヤウニ努メル必要ガアラ
ウ、政府トシテハ只今ノ所ガ宜カラウト
思ッテ居リマス、ソレカラ組合會議員ノ選舉
ニ付キマシテ、只今マデ競争ガアッテ取縮
ヲ要スルヤウナ弊害ガアッタト云フコトヲ
耳ニ致シテ居リマセヌガ、全國三百四十組
合ガゴザイマスガ、其監督ニ付キマシテ、
私共ハ管ニ書面ノ上ニ於テ、選舉ノ問題ヲ
色々議事録等ニ依ッテ調べルコトノミナラ

政府管掌ニ致シマシテモ、共ニ健康保險法
ノ所期ノ效果ヲ舉ゲルト云フコトヲ目的ト
シテ、其間ニ何等ノ差別ヲ以テ見テ居リマ
セヌ、隨テ組合側ニ對シマシテモ、組合ノ及
バヌ所ヲ出來ルダケ是正シテ、サウシテ其
特長ヲ十分ニ發揮セシメルヤウニ致シマ
ス、又全部ガ組合ニナリ得ル性質ノモノデ
アリマセヌカラ、政府ガ管掌シテ行フニモ、
其缺點ハ出來ルダケ是正シテ、又特長ヲ發
揮セシメル、斯ウ云フ風ニヤツテ居リマス、
或ハ組合ノ方ガ給付ガ早ク貰ヘル、政府ノ方
ハソレニ較ベルト手間ガ取レル、斯ウ云フ
ヤウナ意味カラ云ヘバ、實際極ク小範圍ノ
手近ナ組合ニ於テ行ハレルコト、ソレカ
ラ全國廣ク、或ハ一府縣、廣イ範圍ニ互ッテ
事務ヲ行ッテ居ル政府管掌ノ所ト、多少サウ
云フ風ナ差別ガアル、併シソレヲ以テ直チ
ニ政府ノモノガ惡イトカ、組合ガ良イト、
斯ウ云フヤウニ判斷シ兼ネルノデハナイカ
ト思ヒマス、要スルニ兩方トモ一ツノ法制
ノ下ニ、一ツノ目的ヲ以テ、十分ニ至ラヌ
所ヲ矯メ、特長ヲ發揮セシメル、斯ウ云フ見
地デ扱ッテ居リマスノデドチラガ優ッテ居
テ、ドチラガ劣ッテ居ルト云フコトハ、私共
ノ眼ニ映ッテ居リマセヌ、ソレカラ第三番目
ノ保險事業ノ主管部ニ付テノコト、是ハ成

ズ、始終人が全國ニ出テ居リマシテ、當該
地方廳ト御互ニ協力致シマシテ、相當サウ
云フ弊害ノナイヤウニ注意ヲ致シテ居リマ
ス、只今マデノ所特ニ際立ッテ、サウ云フ風
ナ競争ニ依ル弊害ガアッタト云フコトヲ耳
ニ致シテ居リマセヌ、併シ今後十分ニサウ
云フ點ニ付テモ一層注意ヲ拂ヒタイト思ヒ
マス

○松尾委員 モウ一ツ私ハ給付ノコトニ付
テ伺洩レガアリマスカラ御聽キシタイト思
ヒマスガ、療養ノ給付ノ中ニ、組合デモ政
府ノ方デモサウデアリマスガ、負傷シタトカ

——多クハ負傷デアリマスガ、接骨醫ニ掛
リタイト云フヤウナ被保險者ガ可ナリ多ク
アルノデスガ、實際ニ於テ接骨醫ハ指定サ
レテ居ラナイヤウニ思ヒマスシ、組合トシ
テモソレヲ指定シテ居ラナイヤウデアリマ
ス、サウ云フ負傷ノ程度ニ依リマシテハ、
普通ノ醫者ヨリハ接骨醫ノ方ガ、治療ノ上
ニ於テ非常ナル有效ダト云フコトヲ度々聞
クノデアリマスガ、之ニ付キマシテ専門的
ニナリマセウガ、政府ノ御考ハドウデアリ
マセウカ、ソレカラ病氣ナリ、負傷ナリノ
餘後ニ轉地療養ヲスルト云フ場合ニ、醫者
ニハ掛ル必要ハナイ、温泉場ヘデモ行ッテ療
養スルト云フヤウナ場合ニハ、ドウ云フコ

トニナリマスガ、此二點ヲ一ツ伺ッテ置キ
タイ

○川西政府委員 接骨醫、ソレハ特ニ其附
近ニ適當ナ保險醫ガナイ場合ニハ、認メル
ト云フコトニシテアリマスガ、大體カラ申
シマス、外科醫ニ於テ接骨ノ場合、適當ニ
扱ヒ得ル能力ヲ有ッテ居ル譯デアリマスカ
ラ、サウ云フフチャントシタ外科醫ニ掛ケル
途ガアレバ、其方ニ行カセルト云フ方ガ、
治療ノ上デ適當デハナカラウカ、斯ウ云フ

風ニ思ッテ居リマス、ソレカラ第二番目ノ轉
地療養ノコトデアリマスガ、是ハ無論費用
モ相當掛ルコトデアリマスケレドモ、併シ
醫者ノ診斷ニ依リマシテ、實際必要ガアル
場合ニハ認メテ居リマスノデゴザイマス

○守屋委員長 武知君

○武知委員 私ハ極ク簡單ニ三點ダケ御尋
申上ゲマス、熊本ニ片倉製絲ト云フ大キナ
工場ガゴザイマス、此處ニ居ル女工達ハ可
ナリノ數デアリマスガ、ドウモ健康保險醫
ノ投藥ニ信賴ヲシナイ、又效キ目モ實際ナ
イト云フノデ、片倉製絲デハ醫者ノ出張所
ヲ設ケマシテ、其補ヒノ爲ニ良イ藥ヲ飲マ
シテ病氣療養ニ資シマシタ所ガ、保險署カ
ラソレハイカヌト云フノデ、撤廢ニナッテ、
今ハ止メルヤウナコトニナッテ居リマス、是

ハ私共ノ考ニ依リマス、片倉製絲ノ當局
者ハ、洵ニ良イコトヲシテ居ルモノデア
ルト思フ、御承知ノヤウニ健康保險ノ今ノ制
度ハ請負制度ニナッテ居ル、患者ガ澤山アリ
マスルト其收入率ガ少クナル、患者ガ少ナ
ケレバ却ッテ率ガ多イ、世間デハ餘計働キ
サヘスレバ收入ガ多イ、働カナイ場合ハ收
入ガ少イト云フコトニナッテ居リマスガ、醫
師會ノ方ハ患者ノ少ナイ方ガ手數ガ少クテ
收入ガ多イト云フヤウナ結果ニナッテ居
マス、澤山ノ患者ガ來マス、請負デアリ
マスカラ、粗診粗療ニ失シマス、私ハ専門
家デアリマセヌガ「アスピリン」ノ如キモノ
モ、八厘位ノモノカラ八錢、十錢位ノモノ
マデアッテ、高イ藥ダト損ガ行クヤウニナ
リマスカラ、是ハ安イ藥ヲ使フ、斯ウ云フ弊害
ガアルコトヲ聞イテ居リマスガ、其弊害ヲ
認メテ、片倉製絲ニ於テサウ云フ醫者ノ出
張所ヲ設ケマシテ、女工等ノ診療ニ資シタ、
此施設ハ保險署デハイカヌト云フコトヲ取
除ケサセニ掛ッタノデアリマスガ、斯様ナ問
題ニ對シマシテハ、當局ハドウ云フ風ニ御
見解ニナッテ居リマスカ承リタイ

○川西政府委員 只今御舉ゲニナリマシタ
ヤウナ事實ヲ耳ニ致シテ居リマセヌガ、早
速調ベマシテ、分リマシタラ能ク御答申上

ゲルヤウニ致シマス

○武知委員 御答デ宜シウゴザイマス、私
ハ實ハ片倉製絲ノ當局カラ承ッタノデア
リマスカラ間違ハナイト思ヒマス、尙ホモウ
一應御調ニナッテ御答ヲ願ヒマス、其次ニ是
モヤハリ事實デアリマスガ、東京市ノ豊島
區ニ、町ノ名ヲ故ラニ私ハ省キマス、或ル
工場ガアリマス、保險金ガ三箇月滯納ニナ
リマシタ、ソレデ「ボイラー」ヲ差押ヘラ
レマシタ「ボイラー」ハ工場ノ生命デア
ルト私ハ考ヘマスガ、斯様ナ辛辣ナ取立ヲナ
スッテ、現在監督官デアアル警察ノ力ヲ以テ
隨分取立テ、居リマスルガ、國稅デモ或ハ
府縣市町村稅デモ、可ナリ滯納ニナッテ居
ルモノヲ何時マデモ放ッテ置ク譯ニハ行カ
ヌケレドモ、保險金ガ三箇月滯ッタト云フ
コトヲ以テ、工場ノ生命デアアル「ボイラー」
ヲ差押ヘルト云フコトハ、少シ苛酷辛辣デ
ハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ風
ニ辛辣ニ御取立ニナッテ居ルガ、今日マデ其
保險金ノ掛金ノ未收ト云フヤウナモノハ、
餘リナイモノデゴザイマセウガ、是位ノ御
取立ノ狀態デアッタラ、掛金ハ都度々々集
テ居ルモノト思ヒマスガ、凡ソ一箇年平均下
ノ位ノ未收ガアルカ承リタイノデアリマス

○川西政府委員 滯納ノ整理、詰リ處分ニ

付キマシテハ、固ヨリ保險經濟ノ上カラ、法ノ建前カラ疎カニスルコトハ出來マセヌノデ、餘リ長ク滯納シテ置カレルト云フコトハ、他ノ方面ニモ迷惑ヲ掛ケルコトデアリマスカラ、整理ヲスルコトニ致シテ居リマスケレドモ、併シ常ニ事業ノ狀況ニ依ッテ十分ニ取捨撰擇ヲシテ、苛斂誅求ニ涉ルヤウナコトハ、極力避ケルヤウニト云フ方針デヤツテ居リマス、御擧ゲニナリマシタ例ハ、是モ私マガ耳ニ致シテ居リマセヌガ、サウ云フ方針カラ申シマシテ、餘リ酷イコトハナイヤウニ致シタイト思ッテ居リマス、今迄モサウ云フ積リデヤツテ居リマスケレドモ、尙ホ一層注意ヲ致サウト思ッテ居リマス、ソレカラ滯納額デゴザイマシタガ、是ハ大體八、九〇%位ハ收入出來得ルヤウニナツテ居リマス、毎年其時ノ狀況、其月ノ狀況ニ依ッテ違ヒマスケレドモ、收入未濟ノ額ガ二百萬圓近クゴザイマス

○武知委員 ソレデハ只今ノヤウナ御心持デ、ドウゾ苛斂誅求ニ涉ラヌヤウニ尙ホ御願申シテ置キマス、其次ニ御尋申上ゲタイノハ、是ハ東京牛込ノ出來事デアリマシタガ、健康保險醫ノ所ヘ參リマシタルト云フト、先ニ申シマシタヤウニ、粗診粗療ニ墮スルコトヲ恐レテ居リマスル或ル工場主

ガ、健康保險醫ノ門ヲ潛ラナカッタノデアリマス、可ナリ重傷デアッタカラ、健康保險醫ノ所ヘ行ッタラ命ガ危イ、殊更健康保險醫デナイ所ヘ行ッテ療治ヲシタ爲ニ、見事命ヲ取止メタ、其人ハアトデ保險署ヘ請求シテオ金ヲ貰ヒマシタ、保險醫デナイ家ヘ行ッテ療治ヲシタノデアリマシテ、請求ヲスル程ノ金額デヤゴザイマセヌケレドモ、兎ニ角貰ヒマシタ、サウ云フ旨イコトヤル、法律ノコツヲ知ツテ居ルヤウナ、斯ウ云フヤウナ例ガ外ニモ澤山アリマセウカ、一寸承リタイ

○川西政府委員 健康保險醫ニ付キマシテハ、何時ゾヤモ此席デ御話ガ出テ居リマシタヤウニ、所謂團體自由撰擇主義ト云フコトデアリマシテ、ソレハ言葉ヲ換ヘテ云ヒマス、全國ニ於テ政府管掌ノ保險醫ガ三萬一千餘アリマスガ、是ハ被保險者四十人ニ付テ一人ト云フ位ナ割合ニナツテ居リマス、外國ノ例ナドヲ見マスト千人ニ一人ト云フ位デアリマス、日本ハソレニ較ベマス、隨分多クノ醫者ガ保險醫ニナツテ居ル、ソレデ患者ガ相當自由ナ撰擇ガ出來得ルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、田舎ナラ率ザ知ラズデアリマスガ、牛込邊リノ人ハ隨分近クニ色々保險醫モアルト思ヒマス、ソ

レデスカラ或ル保險醫ガ頼リナイト思ヘバ、相當信用ノ置ケル保險醫モアリサウナモノデアルト思フ、併シ保險醫デナイ所ヘ行ッテ、旨ク金ヲ貰ッタト云フヤウナコトハ、私共想像ガ出來マセヌガ……

○武知委員 金ハ結局渡スノデスカ、渡スコトガ出來ルノデスカ

○川西政府委員 特ニ病氣ガ非常ニ緊急デアツテ、所定ノ手續ヲシテ居ラレナイ、所定ノ保險醫ニ掛レナイト云フコトデ、手近ナ保險醫デナイ御醫者様ノ所ニ擔ギ込ム、ソレガ療養費トシテ支辨セラレルト云フ途ハ法規ノ上カラハゴザイマス、併シ態トサウ云フコトニスルコトハ出來ヌコトニナツテ居リマス

○武知委員 モウアト一點デ質問ヲ打切りマス、只今ノヤウナ御話デアリマス、緊急ナ場合ニ擔ギ込ミマシテ、所定ノ金ガ戴ケルト云フコトニナレバ、田舎デハドウモ面白クナイ、詰リ健康保險醫ニ參リマスト、前ニ申シマシタヤウニ、藥ノ良イノヲ出サズニ惡イノヲ出スト云フ人モアリマスカラ、サウ云フヤリ方ヲスル人ガ少ナウゴザイマスレバ、保險ノ制度ノ上ニモ御損ガ少カラウト思ヒマシテ御喜ビ申上ゲテ置キマスガ、最後ニ私ヨリ特ニ申上ゲテ置キタイ

ノハ、一體政府ノ仕事デ民間ニ請負ハス土木事業ニシテモ何ニシテモ、相當其技能ノ立ッテ居ル、又總テノ條件ノ具ッタ者ヲ選抜イテ請負ヲサセルコトニナツテ居ル、此健康保險ノ醫藥給付制度ニ於キマシテモ、最モ是ハ合理的ニシナケレバナラヌト思フ、第一醫者ハ此診斷、處方ノ學ヲ修メテ居ル、藥劑師ハ國家ガ公認シマシテ藥品調劑ノ學ヲ修メテ居ル、日本帝國ノ法律ハ明ニ醫藥分業ヲ認メテ居リマシテ、唯附則デ例外の規定トシテ、僅カバカリノ間ト云フ意味合デ、此醫者ノ調劑ヲ認メテ居ルノデアリマス、一般分業ト云フコトガ縦シ叫バヌトシテモ、英國ノヤウニ特ニ健康保險ダケハ強制シテ居ルヤウナ有様デ、確ニ私ハ此分業制度ニ依ッテヤラレルコトガ御利益デヤナイカ知ラン、斯ウ思フノデアリマス、又實際ニ此御醫者サンノ家ハ、昨日清水サンノ御話ガアリマシタヤウニ、女中ヤ看護婦ナドガ調劑ヲヤツテ居リマス、殆ド専門ノ學ヲ修メタ者ガ醫者ノ家ニハ居ナイノデアリマス、サウ云フ専門ノ者ガ調劑ヲシテ、安心ナ藥ヲ飲マスヤウニ、斯ウ云フ健康保險ナドノ場合ハ、一番ソレヲ應用スルコトニハ機會ガ好イノデアリマシタカラ、サウ願ヒタイト私ハ思ヒマスルケレドモ、是等ニ對シテ

ハ何レ清水サンカラノ御話ガアラウト思ヒ
マスカラ、此邊デ止メヨウト思ヒマスガ、特
ニ申上ゲテ置キタイノハ、只今御配付ニナ
リマシタ日本醫師會及ビ日本齒科醫師會、
ソレカラ健康保險ノ藥劑師ニ拂ヒマシタ金
額、是ガ別々ニナツテ居テ十分ニ私分ラヌ
カラ合算シテ見マシタ、醫師會ト齒科醫師
會トヲ一緒ニシマス、改メテ此處デ申上
ゲテ置キマスガ、昭和元年ニハ醫師側ノ方
ヘ二百七十七萬四千五百五十五圓支拂ッテ居
ルニ對シ、健康保險藥劑師ニ對シテ僅ニ一
千七十七圓二十四錢デゴザイマス、昭和二
年ニハ醫師側デ九百二十六萬三千五百七十
九圓デアルニ拘ラズ、健康保險藥劑師ハ僅
ニ一萬百五十七圓五十五錢、昭和三年ニハ
醫師側ハ九百四十六萬一千百十五圓ニ對シ
テ、藥劑師側ノ方ヘハ七千九百二十五圓六
十一錢、昭和四年ニ於キマシテハ九百三十
四萬四百十九圓ニ對シマシテ、藥劑師側ハ
僅ニ四千八百七十四圓十五錢、昭和五年ニ
ハ醫師側ニハ九百七十五萬二千六圓ニ對シ
テ、是ハ實ニ少クシテ藥劑師側ハ二千七百
九十二圓五十七錢ト云フノデアリマスカ
ラ、是デヤ藥劑師側ガ遂ニ總脫退ヲ致スト
云フコトモ私ハ無理ナイト思フノデアリマ
ス、此度、昨年又御締結ナスツヤウデア

リマスガ、僅ニ締結シタ其月ニハ二件デア
テ、此金額四圓七十何錢ト聞イテ居リマス
ガ、以前ノヤウナ斯ウ云フ状態デアッタラ、
折角締結致シマシテモ、全國ノ二萬何千ノ
藥劑師ト云フモノハ、實際思フヤウナ效果
ヲ見ルコトガ出來ズ、定メシ失望スルコト
デアラウト私ハ思フノデアリマス、健康保
險ガ擴大サレテ、現在ノ制度ノ如ク根本ノ
不備ガ除去サレヌ限リハ、擴張サレ、バ擴
張サレル程藥劑師ト云フモノ、生活ハ脅カ
サレマス、工場地帯ノ藥劑師ト云フモノ、
生活ハ、實ニ危殆ニ瀕シテ居ルト申上ゲテ
モ差支ナイノデアリマス、折角同ジ學校、
同ジ程度ノ學問ヲ致シマシテ、専門ノ學科
ヲ修メテ世ノ中ニ出マシテモ、仁丹ヤ齒磨
ヤ砥粉、磨粉、或ハ石鹼ト云フヤウナモノ
ヲ賣ル、一方ハ直グニ學校ヲ出ルト先生ト
言ハレマス、一方ハ同ジ學問ヲシテ居リマ
シテモ、塵紙賣ニナリ下ラナケレバナラヌ
ト云フコトニナル、制度トシテ醫者ニハ國
家ガ補助ヲシ、都合ノ好イ機會ヲ與ヘル、
藥劑師ノ方ハ其度每悲況ニ沈淪セナケレバ
ナラヌト云フコトデハ、實ニ私ハ是ハ可哀
想ダト思フノデアリマシテ、寧ロ斯ウ云フ
コトノ根本ヲ改メテ見タイト云フ御考ガナ
イノデアッタラ、進ンデ藥學校ヲ廢止シタ

方ガ宜イ、ナマジ斯ウ云フ學校ヲ拵ヘテ、
オ前ガ出タラ一人前ノ人間ニナレルンダト
國家ノ法律ガソレヲ認メテ居ル、然ルニ出
テ見マスレバ、今申シマス哀レ儂ナイ境遇
ニ陥ッテ居ルノデアリマスカラ、此點ハ清水
君カラ十分御話ガアリマシタシ、又後デモ
アルト思ヒマスガ、私モ議員ノ一人トシテ
サウ云フ希望ヲ有ッテ居ルノデアルト云フ
コトヲ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、ソ
コデ此案ハ、私ハ隨分此法令ガ難解デアッ
テ、手續ナドモ複雑デゴザイマスルカラ
「メートル」法ノヤウニ豫行演習ト申シマス
ルカ、多少餘裕ヲ置イテ實施シタ方宜イ
ノデヤナイカ、十年四月一日カラ實施ナド
ト云フヨリモ、以前ハ年號ガ西曆ニナツテ
出テ居リマスガ、千九百二十二年ニ制定サ
レテ千九百二十七年ニ施行サレテ居リマ
ス、一寸五箇年程ノ猶豫期間ガアッタノデ
アリマス、サウ云フ風ニ若シアッタトシマ
スレバ、今度モ何か政府ノ方ニ於テモモウ
少シ研究ヲシ、一般ノ者ニモ法令其他ノ總
ラノ手續等ノコトモ頭ニ入ルヤウニ、施行
期日ヲ延期シテ見テハドウカト云フヤウナ
氣持ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シ
テドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマスカ

スルコトニ付テハ、昨日ノ清水君ノ御尋ニ
對シテ色々御答致シマシタヤウナ譯デ、大
體御希望ノ點ハ伺ッテ置イテ十分考究致シ
マス、尙ホ本法施行期日ノ問題デ猶豫ガ出
來ナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、健
康保險法制定ノ際ニハ、非常ナ長イ期間ガ
實施マデニハアッタデハナイカト云フ御話
ガアリマシタガ、是ハ偶然ノコトカラ左様
ナコトニナッタノデアリマシテ、ソレハ即チ
關東大震災ノ爲ニ實施ガ遅レタノデアリマ
シテ、決シテ本法ノ實施ニ斯ノ如キ長イ準
備期間ヲ要シタト云フヤウナ譯デハナイノ
デアリマス、ソレデ今回ノ擴張ニ付キマシ
テモ、丸一年アリマスレバ、吾々トシテハ
十分確信ヲ以テ、其準備ヲ進メテ行クコト
ガ出來ル積リデアリマス、一年ガ即チ一種
ノ猶豫期間デアアルノデアリマス、此期間ニ
十分實施ノ準備ハ致サレル、斯ウ云フ確信
ヲ有ッテ居ル次第デアリマス

○守屋委員長 岡田君
トモアリマス、大分同僚諸君カラ各般ノ御
尋ガアリマシテ明瞭ニナリマシタコトモア
リマスガ、尙ホ少シク私トシテ御伺致シタ
イ點ニ付キマシテ御尋致シタイト思ヒマ
ス、第一ニハ此改正案ハ言フマデモナク勞

○丹羽政府委員 醫師ト藥劑師ノ關係ニ關
スレバ、今度モ何か政府ノ方ニ於テモモウ
少シ研究ヲシ、一般ノ者ニモ法令其他ノ總
ラノ手續等ノコトモ頭ニ入ルヤウニ、施行
期日ヲ延期シテ見テハドウカト云フヤウナ
氣持ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シ
テドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマスカ

○岡田委員 色々御尋致シタイト思フタコ
トモアリマス、大分同僚諸君カラ各般ノ御
尋ガアリマシテ明瞭ニナリマシタコトモア
リマスガ、尙ホ少シク私トシテ御伺致シタ
イ點ニ付キマシテ御尋致シタイト思ヒマ
ス、第一ニハ此改正案ハ言フマデモナク勞

○守屋委員長 岡田君
トモアリマス、大分同僚諸君カラ各般ノ御
尋ガアリマシテ明瞭ニナリマシタコトモア
リマスガ、尙ホ少シク私トシテ御伺致シタ
イ點ニ付キマシテ御尋致シタイト思ヒマ
ス、第一ニハ此改正案ハ言フマデモナク勞

働者保護施設ヲ擴大スルト云フノデアリマスカラ、趣旨トシテ、目的トシテ異存ノアル筈ハナイノデアリマス、寧ろ御同様極メテ結構ナコトデアルト云フヤウニ思ハザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ又立返ッテ考ヘテ見マズレバ、何分ドウモ十人以下五人以上ト云フヤウナ、申サバ資力薄弱ナ、弱小ノ工業團體ニ對シテ、相當ノ負擔ヲ負ハシメル問題デアリマスガ爲メ、結局ソコニ非常ニ考ヘネバナラヌ問題ガアル譯デアリマス、殊ニ産業團體ノ方ニ於キマシテハ、御承知ノ通り色々ナ之ニ向ッテ陳情ヲ致シテ居ル譯デアリマス、私共ノ手許ニモ色々陳情書ガアル、若クハ又來ッテ語ル者モアル譯デアリマス、此點ハ松尾君カラ殆ド全部ヲ竝ベテ御話ガアリマシタガ、併シ尙ホ私トシテ茲ニ御尋シタイト思ヒマスルコトハ、一ツハ斯様ナ一種ノ反對陳情ノコトデアリマス、此種ノ反對陳情ハ、松尾君ガ述ベラレマシタヤウナ諸點以外ニ、當局ニ對シテ尙ホ如何ナル、言ハマ有力ナル所ノ陳情等ヲ爲シテ居ル向ガアリマスカドウカ、吾々ノ耳ニ入ラナイヨリ以上ノ、若クハ以外ノ、更ニ新シイ反對事項等ガアリマスナラバ、ソレヲ一應明ラサマニ御示シ下サイマシテ、御互ニ考究シタイ

ト思ヒマス、無論又ソレニ對スル當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、次ニ産業團體ガ斯様ニ反對スルト云フコトハ、見様ニ依ッテハ利害ノ相違スル立場ニモアリマスガ爲ニ、或ル意味ニ於テ此制度ヲ必シモ歡ビ迎ヘナイト思ヒマス、然ラバ此反對モ、是等ノ制度ノ最後ノ恩惠、惠福ヲ受クベキ勞働者側ニ於キマシテハ、ドウ云フヤウナ意嚮ヲ有ッテ居ルノデアラウカ、大體ノコトハ推測モ付キマスガ、勞働者團體等ニ於テ、改メテ當局ニ對シマシテ、斯ノ如キ制度ヲ是非急施シテ貰ヒタイ 是非實行ヲ斷行シテ貰ヒタイト云フヤウナ、熱烈ナル所ノ要求等ヲ致サレタモノガアリマシタカドウカ、アリマスレバ是亦參考トシテ其狀況ヲ承リタイト思ヒマス、先ヅ此事實ノ問題ニ付キマシテ御答ヲ願ヒマス

○川西政府委員 御質問ノ第一點ノ、反對ノ陳情ノ趣旨ガ、松尾委員ノ御述ニナッタ以外ノ趣旨デ陳情シテ居ル者ガナイカ、此點ニ付キマシテハ、大體松尾委員ノ御舉ゲニナリマシタヤウナ趣旨デ反對ノ陳情ガ出テ居リマス、尙ホ細カク申上レバ、或ハ傷病率ノ如キモノハ、吾々商工業ノ方面ニ低イトカ、或ハ衛生設備等ハ十分アル、傷病ノ保護ニ付テハ家族制度等ノ美風ニ依ッテ

十分ヤッテ居ル、斯ウ云フ風ナ意味ノコトヲ述ベテ、今更健康保險ノ世話ニナラナクテモ宜シイ、斯ウ云フ事項ガゴザイマス、之ニ付テハ色々其方面ノ實地ノ狀況モ調ベテ見マシタガ、先程松尾委員ニ對シテ社會局長官カラ御答辯ガアリマシタヤウナ狀況デアリマシテ、衛生危害豫防設備ト云フヤウナ、工場法等ノ適用ヲ受ケテ居ル工場ト較ベマスト、格段ニ劣ッテ居ルノガ大體ノ狀態デ、傷病保護ニ付テ十分ヤッテ居ルト云フヤウナ御話モアリマスケレドモ、中々サウハ行ッテ居リマセヌ、ソレデ家ニ住込ンデ居ル人達ニ對シテハ家族同様ト申シマスカ、相當長イ期間、家族ノヤウニ樂、手當等モヤリマスケレドモ、ソレニ致シマシテモ病氣ガ一箇月ニモナリマスト、故郷ニ歸ッテ養生シロト云フコトニナリマスシ、殊ニ通ヒ等ノ人ニ對シテハ中々サウ云フ風ニハ行ッテ居リマセヌ、ソレカラ此方面ノ小サイ所デハ、御承知ノヤウニ大キナ會社、工場等ニ見マサウナ互助のナ共濟組織ト云フモノガ皆無ト言ッテモ宜イノデアリマス、一朝有事アル時ハ事業主、其他同僚カラ少シ宛金ヲ出シ合ッテ、見舞金ヲ送ルトカ何トカ云フノガ精々デアリマス、ソレ等ノ點ニ非常ニ缺ケテ居ルヤウニ思ヒマス、サウ云

フ點ガ松尾サンノ御述ニナッタ中ニ、多少落チテ居ッタヤウナ事柄デハナカラウカ、私共ノ調ベタ所ハ大體ソノナ風デアリマス、ソレカラ第二點デゴザイマスガ、是ハ實ハ擴張案ニ對シテハ、反對的ノ意見ヲ以テ陳情サレテ居ルノハ、桐生、伊勢崎等ノ同業組合、ソレカラ其他ノ方面ニ於ケル商工會議所、名古屋地方、大阪地方、斯ウ云フ方面ノ殆ド同シ趣旨ノ陳情ガ出テ居リマスガ、一方賛成ト申シマスカ、是デハ寧ろ手緩イト云ッテ叱ルヤウナ點、詰リ色々此案ニ對シテノ肯定的ノ意思表示ヲサレテ居ルモノガ相當ゴザイマス、此法案ガ世上ノ議論ニナリマスズツト前カラ、健康保險法ノ範圍ハ、現在ノヤウナ制度デハ駄目ダ、諸外國ノ例ヲ見テモ、大抵此疾病ノ保護ニ對スル保險制度ト云フモノハ、國民ノ大部分ガソレニ依ッテ「カヴァー」サレテ居ル、然ルニ日本ハホンノ一部分デ、是デハナラヌデヤナイカト云フ意味ニ於ケル意見ハ相當各方面カラ現レテ居リマス、具體的ニ申シマスレバ、日本醫師會、齒科醫師會等、健康保險ニ直接關係アル團體、ソレカラ勞働側ト致シマシテハ、日本勞働組合總聯合、或ハ日本勞働組合會議ノ決議等、或ハ決議トシテ、或ハ直接社會局ヘ來訪サレマシテ、任意ノ

方面、強制ノ方面共ニ非常ニ不十分デ、斯
ンナ生温イ案デハイカスト言ッテ、吾々ニ
喰ッテ掛カルヤウナ勢デアリマシテ、其他
健康保險組合ハ現在三百四十アリマシテ、
是等ノ組織シテ居ル聯合會ノ意見ハ、今日
迄ノ社會施設の制度デ是位良イ成績ヲ擧ゲ
テ居ルノハ少イ、之ヲ擴張スルニ異論ノア
ル筈ガナイト云フ意見ガ出テ居リマス、其
他國際労働協會常務委員會、或ハ勞務懇談
會ト云フヤウナモノカラモ、矢張擴張ニ付
テノ意見ガアリマス、ソレカラ衆議院ニ於
キマシテ、昭和六年デゴザイマシタカ、保險
ヲ擴張スルヤウニト云フ意味ノ建議案ガ現
レテ居リマス、手近ナ所デハ、昨日、今日
ノ御議論ノ中ニモ、モット範圍ヲ擴張スベキ
デナカラウカト云フ御意見ヲ御漏シニナル
ヤウナ御方モ御見受ケスルヤウナ譯デアリ
マス、兎モ角労働者側ガ或ハ書面、或ハ直
接社會局ニ見エマシテ、熱心ニ是レ以上擴
ゲルヤウニ、又昨日問題ニナッテ居リマシ
タ舩船夫ト云フヤウナ者ヲ、何故入レナイ
カト云フヤウナコトモ労働者側カラ出テ居
リマス、大體斯ンナ模様デアリマス

得ナイノデアリマス、今日吾々ノ耳ニ致シ
テ居リマス反對意見ノ中ニ於キマシテモ、結
局一ハ小事業主デアルカラ保險料給付ノ負
擔ノ苦痛ガ容易デナカラウト云フ點ト、又
現在ノ保險制度ノ取扱手續ガ餘リニ煩雜デ
アリ、複雑デアッテ、斯様ナ小事業主ハ朝カ
ラ晩マデ事業ノ爲ニ没頭シテ居ル身柄デア
リマスカラ、容易ニ此繁雜ヲ取扱ヲ圓滿ニ
ヤッテ行クコトハ出來ナイノデハナイカ、隨
テ目的ハ宜シイガ、斯ウ云フヤウナ制度ヲ
之ニ及ボスコトハ圓滑ナル目的ヲ達成シ、
隨テ又十分ニ公益ヲ擧ゲルコトガ出來ナイ
ノデハナカラウカ、茲ニ疑ヲ置イテ居ルヤ
ウニ思ヒマスガ、此二ツノ問題ハ就中私共
疑ヲ同スルモノデアリマス、要スルニ是
ガ重點デアリマシテ、此二ツノ點ニ於テ
重大ナル支障ノナイト云フ以上ハ、言フマ
デモナク、是非トモ此様ナ制度ヲ促進シタ
イト云フ譯ニ相成ルノデアリマス、ソコデ
御尋致シタイト思ヒマスルコトハ、先ヅ負
擔ノ關係デアリマス、成程負擔ハ、假ニ百
分ノ四ト云フヤウナ率ニ於テ保險料ヲ負擔
スルトシマスカラバ、先ヅ五人ノ者ヲ使ッテ
居ル向キニ於テハ、言フマデモナク日ニ二
十錢内外ノ負擔、十人近イモノデアリマス
ナラバソレノ倍、所謂敷島一ツ、二ツノ價

ニ過ギナイト云フ關係ニ相成ルノデアリマ
ス、併ナガラ何ヲ申スニモ、此様ナ數アル
所ノ小サナ事業主デアルカラ、斯ノ如キ負
擔ト雖モ、時ニハ苦シイ重大ナル一ツノ負
擔ニナラネバナラナイト云フコトヲ考ヘザ
ルヲ得ナイノデアリマス、ダカラシテ能フ
ベクンバ、何カ折角此様ナ仕事スルナラ
バ、政府ニ於テ、即チ國ニ於テモ、殊ニ此
様ナ資力薄弱、弱小ナル所ノ事業主ニ負擔
ヲ負ハシムル所ノ保險料ニ對シテハ、之ヲ
輕減シ、若クハ低減スルト云フヤウナ、適
當ナ斟酌ヲ加ヘテ實施スルト云フコトハ、
當然御考ニナッテ然ルベキ方法デアナカッタ
ラウカト思フノデアリマス、例ヘバ十人以
下五人以上ノ工場ニ關スルモノニ限りマシ
テ、或ハ其保險料ノ三分ノ一ヲ國ガ負擔ス
ル、三分ノ一ヲ事業主ガ負擔スル、而シテ殘
ル所ノ三分ノ一ヲ労働者、即チ被保險者ガ
負擔スルト云フヤウナ筆法デ、幾ラカ是ハ
特殊扱ヒヲ致シマシテ、國ガ之ヲ助成シテ
ヤルト云フヤウナ斟酌ヲ致シマスカラバ、
言フマデモナク、負擔ヲ輕減スルコトニ相
成ルノデアリマスシ、又斯様ナ労働制度ガ
歡ビ迎ヘラレテ、圓滑ニ施行出來ルヤウニ
相成ルデアラウト思ヒマス、又其様ナ意味
合ノ方法ニ依ルノデナカッタナラバ、セメテ

モノコトヲ考ヘテ見マス、此保險料ノ算
定ニ付キマシテハ、御承知ノ通り報酬實額
ノ標準額ト云フモノヲ定メテ居ル現在ノ制
度デモアリマス、ダカラシテ是ガ十人以下
五人以上ノ新適用工場ニ對シマシテノミ、
新一ツノ「デールブル」ヲ設ケテ、標準額
ヲ新ニ作りマシテ、其標準額ニ於テ相當保
險料ヲ低減スルヤウナ意味合ニ於テ、斟酌
シタ所ノ標準ヲ定メルト云フコトモ一ツナ
ケレバナラマイト思ヒマス、少クトモ其程
度ノ斟酌ヲスルト云フコトハ、是ハ洵ニ考
慮スベキ當然ノコトデアナカラウカノヤウ
ニ思ヒマス、斯様ナ方法ヲ執ラナカッタ
云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、私共
ハセメテソレ等ノ方法ニ付テ、相當考慮ア
リタイモノト云フ考ヘテ有ッテ居リマスシ、
必ず又其點ニ於テ相當ノ御審議ガアッタ筈
ダト思ヒマスカラ、其事情ヲ一ツ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○川西政府委員 御質問ノ點ハ、負擔ノ點
ト手續ノ問題デアッタカト思ヒマス、手續ノ
點ニ付キマシテハ、先程松尾委員ノ御質問
ニ對シテ御答申上ゲマシタ以外ニ、餘リ加
フル所ハゴザイマセヌ、負擔ノ輕減ノ問題
ニ付キマシテハ、直接保險料ヲ特ニ十人以
下ヲ區別シテ低クスル、御話ニナリマシタ

ヤウニ三分ノ一宛ニスル、國家モ之ヲ持ツト云フヤウナ問題ハ、相當困難ナコトデアッテ、サウシテ又サウ云フコトノ妥當性ヲ私共疑フ譯デアリマス、固ヨリ斯ウ云フ事業ノ人達ニ對シテ、出來ルダケ迷惑ヲ少クスルト云フ意味合ニ於テ、保險料ノ問題以外、言ハ、間接ノ配慮ニ依ッテ色々ソレ等ノ人ノ出費ヲ少クスル、或ハ事務ヲ簡捷ニスルコトニ依ッテ、ソレモ出來マセウ、例ヘバ先程申上ゲマシタ郵便局扱ノ如キモノニ致シマシテモ、其日々々仕事ニ當ッテ居ル人ガ、保險料ヲ納メル爲ニ數時間、或ハ極端ニナリマス、半日モ費サナケレバナラスト云フコトニナルノハ、結局其人達ノ收入ニ影響ヲ及ボスノデ、ソレガ極ク手近ナ所ニ納メラレルト云フコトハ、隨分出費ノ輕減トナルト思ヒマス、或ハ先程申上ゲマシタ書面等ヲ、出來ルダケ簡略ニスルコトニ依リ、口頭等ニ於テ手續ヲ濟マセル指導係ヲ設ケル、専門ノ受持ヲ持タセテ、サウシテ親切ニ、場合ニ依ッテラ代ッテ、モ書イテ上ゲルト云フヤウナ方法ニスルトカ、或ハ簡單ナ用事ノ如キモノハ、出來ルダケ經費ノ掛カラヌヤウニ心配スルトカ、左様ナ特ニ間接ナ方法ヲ百方盡シテ、是等ノ人ノ費用ヲ輕クスル、斯ウ云フ風ニ私共ヤッテ

行キタイト思ッテ居リマス、保險料ヲ正面ニイデッテ、法ノ建前ヲ變ヘテドウスルト云フコトハ、色々研究ハシテ見マシタガ有ッテ居リマセヌ、最後ニ御話ニナリマシタ表デゴザイマスガ、御話ノ通りニ十六等ニ表ガ分ケテアリマス、之ニソレレノ保險料率ガシテゴザイマス、是等ノ問題ニ付キマシテハ、尙ホ能ク研究致サウト思ッテ居リマス

○岡田委員 保險料低減ニ付キマシテ、只今ノ御答ニ依リマスルト、ドウモ餘リ御意嚮ガナカッタヤウニ伺ッテ居リマシタ、是ハ一ツノ意見ニナルコトデアリマスガ、私共ノ意見ヲ以テシマシナラバ、政府ガ斯様ナ考ノミヲ有ッテ居ッタト云フコトニ付キマシテハ、餘程考ヲ異ニスル譯デアリマス、是ガ財政負擔ノ見地カラシテ、サウハ行カナカッタト云フナラバ別デアリマス、併シ主義トシテ、原則トシテ斯様ニドウモ差別的扱ヲスルト云フコトハ、贊成デナイト云フヤウナ御意見デアルト云フナラバ、是ハ私ハ大ニ研究ノ餘地ガアルコトデハナカラウカト思ヒマス、奈何セン、問題自體ガ一ツノ社會事業デアアル、社會施設デアリマス、ダカラシテ、斯様ナ小サイ事業主デアリマシテ、保險料ノ負擔ニ困ルト云フ場合ガ、現

實一般的ニアルトスルナラバ、人ト場合ニ依リ、事情ニ依ッテ、之ヲ相當斟酌スルト云フコトハ、何モ差支ナイコトデアルト私ハ思ッテ居リマス、寧ロソレガ社會施設本來ノ目的ニ適フ所以デナイカト思ヒマス、現在ノ保險料ノ制度ニシマシテモ、或ル意味ニ於テハ、サウ云フ差別的の問題ガナイコトモナイト思フ、例ヘバ特殊ノ場合ニ於テ免除料ノ納入ヲ免除シテ居ル場合ガアリマス、又三十五錢以下ト云フ、極メテ低額ノ勞働賃銀ヲ報酬トシテ得テ居ル者ニ對シマシテハ、保險料ノ全免ヲシテ居ルヤウナ形ニナッテ居リマス、斯様ナ譯デアリマスカラシテ、事業主及ビ勞働者共ニ——尤モ勞働者ニ付テハ共ニト云フ意味ガアリマセヌガ、事業主ニ對シテハ、極メテ資力薄弱、弱小團體ト云フコトハ言フマデモアリマセヌ、隨テ保險料ノ負擔ガ、此制度ヲ實行スルニ一番大事ナ問題デアリマス、デアリマスカラ、出來ルナラバサウ云フヤウナ意味合ニ於テ、負擔ノ輕減ニ付テ相當ノ斟酌ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ社會事業本來ノ性質カラ見マシテモ、御考ニナルベキコトデハナカラウカト思フ、以上申上ゲマスル通りニ、私ハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ私ノ意見デアリマスガ、唯遺憾ト

シマス所ハ、斯様ナ點ニ付テ初カラ餘リ深ク用意ナク、之ヲ顧ミナカッタト云フナラバ、大ニ論ズベキ餘地ガアルト云フコトヲ申シテ置カネバナラヌシ、又此制度ヲ實行スルニ付テハ出來得ベクンバサウ云フヤウナ制度ガアッテ欲シイ、御斟酌ガナケレバナラスト云フコトヲ思ウテ居ル譯デアリマス、以上ハ私ノ意見トシテ一ツ御聽キヲ願ッテ置クニ止メマス、ソコデ次ニハ手續ノ簡易化ノ問題デアリマス、是ハ先刻十分ナ御質問モアリ、御答モアリマシタカラ、幸ナコトニハ大半諒解スルコトガ出來マシタ、就中政府當局ニ於キマシテハ、手續ノ簡易化ト云フコトニ付テ非常ナ熱意ヲ有チマシテ、ドウシテモ之ヲ根本的ニ刷新斷行シテ、サウシテ有ユル方法ニ依ッテ事ノ簡易化ヲ圖ッテ便宜ニシタイト云フ、熱烈ナ御答辯ガアッタ位デアリマスカラ、非常ニ私共モ其事ニ期待シ、又信頼セザルヲ得マセヌ、分ケテ其中ニ於キマシテモ、郵便局ニ於キマシテ保險料ノ取扱ヲサセルト云フヤウナコトハ、是ハ洵ニ大ナル所ノ一ツノ御考案デアリ、又御心配デアッタ譯デアリマシテ、實ニドウモ本制度ノ爲ニ最モ喜ブベキコトデアラウト考ヘテ居リマス、其點ニ付キマシテハ、餘リ慾ガ過ギルカモ知レマセヌガ、

私ハ寧ロ性質カラ云フナラバ、郵便局ヲシテ取扱ハシムルト云フコトノ途ヲ御開キニナッテ居ル際ニ、同時ニ保險ニ關スル郵便ノ取扱ニ付キマシテハ之ヲ無料トスル、郵便料ヲ免除スルト云フ所マデ、一ツ御進行ヲ願ヒタイモノデアッタト考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ此制度ノ中ニ於キマシテモ、町村役場ノ身許證明等ヲ取ル際ニ於キマシテハ、特ニ此證明手数料ヲ取ラヌト云フコトニ、折角御認メ下サッテ居ルコトデアリマス、何分本制度ガ、返ス〜モ申シマス通り、社會政策の施設デアリマシテ、サウ云フ途ヲ開クコトハ結構ナコトデアリ、又當然ノコトデアラウト思ヒマス、デスカラ能フベクンバ郵便局ノ取扱ヲ開始シタト同時ニ、ドウカシテ郵便料ノ免除モスルヤウニ一ツ御努力願ヒタイモノデアルト思ヒマスルガ、此點ニ付キマシテ、逓信省當局ト其意味ニ於テ十分御折衝ニナッタカドウカ、若シ十分ナル御折衝ガ其點ニ於テモナカッタトスルナラバ、私ハ十分是ハ又御努力ヲ願ハナケレバナラヌ問題デアラウト思ヒマシタルカラ、一ツ當局ハ宜シク逓信當局ニ對シテ十分諒解ヲ求メマシテ、斯様ナ制度ヲ開イテ戴キタイト云フコトヲ申上グルノデアリマス、其間ノ經緯モ亦御返事ヲ戴キタイ

ト思フノデアリマス、又此手續ノ簡易化ニ付キマシテハ、幾ラデモ澤山爲サネバナラヌ問題ガアルデアラウト思ヒマス、何シロ現在ノ色々ナ手續ト云フヤウナモノハ、表ニシマシテモ、此處ニ書イタ物ヲ見マシテモ、三十七表ト云フヤウナ、斯ノ如キ數多イ表ガアル譯デアリマシテ、尤モ是ハ保險組合トカ、其他複雑ナル所ノ取扱ヲ要スルモノガ含ンデ居リマスカラ、斯様ナ多數ノ表モ出テ來ルノデアリマセウガ、殊ニ十人以下ノ工場ニ適用スルニ際シマシテハ、ドウシテモ先刻御話ノヤウナ意味ニ於テ、或ハ口頭の取扱ヲ認メルトカ、或ハ其外繁文縟禮ヲ避クル意味ニ於キマシテ、徹底的ノ御改正ヲ願ッテ、ドウカシテ之ヲ通俗的ニ、民衆的ニ、簡便ニ、刷新斷行シテ下サルコトヲ特ニ希望致シタイノデアリマス、此點ハ十分御答モアリマシタカラ、私共ハ希望ニ止メテ置ク譯デアリマス、所デ併セテ伺ヒタイト思ヒマスルコトハ、今度ハ文書上ニ於ケル事務ノ簡便バカリデハナイ、實際ニ於ケル取扱ノ便宜ヲ講ズルト云フ、實際ノ制度ヲ開クコトガ尙ホ肝要デアルト存ジマス、先刻之ニ付テハ相當人員ノ配置其他ヲ考慮シテ居ルト云フ御話デアリマシタ、併ナガラドノ程度ニ於テ人員ノ配置ヲ

御考ヘニナッテ居ルカ此點ヲ具體的ニ御話ヲ願ッテ、十分吾々ノ納得ノ行ク程度マデ御説明ヲ戴キタク思フノデアリマス、私共ノ疑フ所、且又心配致シマス所ハ、恐ラク此改正ヲ實行スルナラバ、容易ナラヌ手續ガ掛ルグラウト思フノデアリマス、一體豫算ニ於テ幾何ノ費用ヲ要求サレマシタカ、私マダ調べテ居リマセヌ、隨テ是ハ御説明ヲ戴キタイ所デアリマスガ、之ニ對シテ十分ナ豫算モ取り、又人員ノ配置ガ講ゼラレテ居ルカドウカ、要スルニ十分ニ人ヲ配シマシテ、サウシテ親切ニ、便宜ニ手ノ届クヤウニ世話スルノデナカッタラ、恐ラク到底圓滿ニ之ヲ處理スルコトハ不可能デアラウト思ヒマス、此點ハ私ハ實際問題トシテ、極メテ重要ナ問題デハナカラウカト思ヒマシマス、世間ノ噂ニ依リマシテモ、ドウモ此事業ヲ斯ウヤッテ理想ニ付テ實行スルト云フコトハ、理想上カラ云ヘバ洵ニ結構デアル、併シ恐クハ此問題ヲヤッタナラバ、餘程保險勸誘者自體ガ面喰ッテシマウノデハナイカ、即チ政府自體ガ困ルヤウナ事態ヲ惹起スルノデハナイカ、畢竟スルニ敏活圓滿ニ處理スルコトガ出來ズシテ、斯ノ如キ小工場ニ於ケル保險事務ニ様々ナ支障ヲ來シ、様々ナ苦情ヤ悶著ヲ來シ、其結果延イ

テテ保險料ノ未納ト云フコトガ起リ、又未納ニ對スル處分問題ニ付キマシテモ、重大ナ故障ガ起ルデアラウト云フヤウナ點ニ付テ、深く憂慮シテ居ル向ガアルノデアリマスガ、此點ハ私モ全く同感デアリマス、其點ヲ餘程私ハ心配スル者デアリマス、ドウシテ其點ヲ旨クヤッテ行クコトガ出來ルカ、此點ニ付テ一應十分御説明ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○川西政府委員 御質疑ニ御答シマス前ニ、先ヅ最初ニ一寸私ノ言葉ガ足りマセヌ爲ニ誤解ヲ受ケタカノ如ク感ゼラレマスノデ申サシテ戴キタイ、ソレハ十人以下ノ人達ニ對シテ保險料ヲ特ニ考ヘルト云フコトヲ主義トシテ、或ハ議論トシテ、サウ云フコトハ問題ニシナカッタト云フコトデアリマシテナイノデゴザイマスカラ、其點ハ一ツ御承知ヲ願ヒタイ、國家ガ此三分ノ一ヲ負擔スルト云フコトハ、國家ノ財政ニ隨分大キイ影響ヲ及ボス問題デアリマスシ、又十人以下ト云フ人數ヲ標準ニ致シマシテ、ソレト其上トヲ區別致シマシテ、サウシテ直チニ相互ノ間ノ保險料ニ差別ヲ付ケルト云フコトハ餘程困難デハナカラウカ、色々ナ點ヲ併セ考ヘマシテ、此問題ニ付テ、小サナ事業主ニ對スル負擔、或ハ手續等ヲ簡易

ニスル方法ヲ考ヘマシタガ、保險料ノ問題トシテ扱フ點ニハ躊躇致シマシタノデ、ソレヲ致シマセヌデシタ、斯ウ云フ意味デゴザイマスカラ、主義トシテサウ云フ問題ヲ考ヘナイト云フノデハゴザイマセヌカラ、ドウジサウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ手續ノ問題ニ付キマシテ、郵便ヲ出來レバ無料ニスル、洵ニ御尤ナ御意見デゴザイマシテ、實ハ會テ案ヲ練リマシタ時ニハ、サウ云フ建前デ參ラウトシタノデゴザイマスケレドモ、マダ目的ヲ達シテ居リマセヌ、今後出來ルダケサウ云フ風ニ致シヤウニ努メテ見タイト思ッテ居リマス、ソレカラ昭和十年度ニ於ケル豫算ガドレ位デアアルカト云フ點ニ付テハ、今後ノ問題トシテ尙ホ大藏當局ト折衝ヲシナケレバナラヌ問題デアアルデアリマスガ、昭和九年度、詰リ實施ニ著手致シマスノニ必要ナ事務ヲ運ブ費用ト致シマシテハ、六萬二千八百四十三圓ト云フ豫算が見込デアリマス、ソレデ人員ト、配置ノ腹案ト致シマシテ、各府縣別ニ作ッタ表モゴザイマスガ、ソレヲ一此處デ讀上ゲマスコトハ煩ニ堪ヘナカラウト思ヒマスカラ、腹案ノモノデゴザイマスケレドモ、御希望デアリマスレバ御目ニ掛ケルヤウニ致シマス(岡田委員、御願致シ

マス)ト呼フ人数ト致シマシテハ、地方廳ニ事務官二人、屬官五十八人、其外之ニ伴フ雇、其他ノ人数ガゴザイマス、社會局ニハ屬官ヲ二人、是ハ昭和九年度ニ於ケルモノデゴザイマス、實施ノ時ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、マダ具體的ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、尙ホ保險部、保險課ノモノト致シマシテハ、幸ニシテ保險料ノ納入モ郵便局扱ガ出來ルヤウニナリマシタカラ、少クトモ其方面ニ於ケル手ハ輕クナッタ譯デアリマス、是カラ生ズル餘裕ハ、大ニ今度ノ擴張方面ニ向ケタイト思ッテ居リマス、ソレカラ幸ニ致シマシテ、現在地方廳ニ勤務致シテ居リマス人達ハ、其大部分ト申シテ宜カラウト思ヒマスガ、健康保險法施行當初カラ其事務ニ從事致シテ居リマスヤウナ譯デ、ソレ等ノ人ガ其經驗ト、サウシテ私ガ先刻申上ゲマシタ被保險者、事業主本位ニ、本當ニ其人達ニ迷惑ガ少ク、喜バレルヤウニスルト云フ精神デ當ッテ行ケバ、サウ御心配ヲ掛ケルコトナクシテ行ケルドラウ、其點ハ一ツ十分ナ努力ヲシテ一向差支ナクヤッテ行ケル確信ヲ有ッテ居リマス

〔散會ヲ願ヒマス)ト呼フ者アリ〕

○守屋委員長 今日ハ此程度デ散會致シマス

ス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午後四時十四分散會